

明治四十年七月廿八日

一八三ページ

JOBUN

手工研究発刊に就て

手工研究発刊の祝辞

手工研究会設置に就ての所感

手工科普及の一方法

祝辞

△研究▽

研究議事録

出席者

一戸清方

岡山秀吉

阿部七五三吉

佐野正造

小学校手工及図画科教授に就いて

手工科教授視察録

手工師範学校設立意見

手工科を實驗して竹細工に及ぶ

紙製造花の實驗

手工科は個性教育を施すに最適当なり

高等科女生徒に手工科課設の計画

小学校手工科教員養成の必要に就て

手工科の種類規定の標準に就て

OTO MAKIYA

上原六四郎

沢柳政太郎

白仁武

手島精一

後藤牧太

上原六四郎

岡見正

山本清熙

森利平

上原六四郎

岡山秀吉

一戸清方

森利平

山本清熙

藤五代策

松田福太郎

武田留蔵

武田留蔵

武田留蔵

武田留蔵

手工教授上の雜感

手工研究会の成立を祝し併せて師範学校

手工科統一の方法に關する希望を述べ

吾人の學びたる造花術の一

△通信▽

長野県手工科の過去及び現在

清国会員の近況

△質疑▽

尋常科手工科教材配当の状況

△雜録▽

英國小学校に於ける手工

留學生報告

一歐洲諸國に於ける手工科教授の状況に

關する報告

米國に於ける手工科の近況

△会報▽

本会規則

本会沿革及び行事

本会役員

本会役員

本会役員

手工科南俣圖書一覽

長谷川曾一

齋藤金造

龍扇

齋藤金造

張焯

汪瑞生

勝部憲主

阿部七五三吉

乙竹岩造

佐野正造

佐野正造

佐野正造

佐野正造

佐野正造

佐野正造

佐野正造

佐野正造

佐野正造

佐野正造

佐野正造

佐野正造

佐野正造

佐野正造

佐野正造

佐野正造

佐野正造

佐野正造

第貳輯

〈研究〉

手工研究会討議會議事速記録

如何にせば手工科を普通教科の如くに教授し得べきか

図画手工連続教授

手工科教授の主義

手工教育の目的を論ず

繡物教授につきて

竹藍細工

教科案上に於ける手工科の位置

六学年小學校に於ける細工の種類

手工科教授上の実験ニミを述べて修正を請ふ

折紙細工の研究

師範學校手工科課程につきて

銷夏の一作

〈評論〉

日本手工原論著者の手工科教授書に對する批評を駁す

石川泉下小學校手工及図画科教授の状況

視察談

〈通信〉

支那に於ける手工

二一ニページ

出席者 六名

長谷川 晚雪

岡山 秀吉

菅島 吉三郎

奥山 新次郎

松田 福太郎

藤五 代策

木次 嘉一郎

阿部 七三三

齋藤 金造

木内 菊次郎

重富 亀一

山本 清熙

岡山 秀吉

上原 六四郎

張 焯

山形県内手工科実施の状況
学習院初等科に於ける手工科の一般

東京高等師範學校圖画手工専修科の近況

〈雜録〉

手工研究会の未発言者

手工研究会に關する今昔談

手工研究会の總集大会を視す

尋常科手工科教授細目

六学年

教授細目

〈質疑〉

米國に於ける手工教育

〈會報〉

集會

規則改正

本會役員改選

地方委員

手工研究大会記事

新入會者

手工南俣回書一覽

武田 留藏

佐野 正造

杉田 稔

須貝 敬二

一戸 清方

森利 平稿

武田 留藏

廣瀬 郁太郎

加賀山 雅

小林 豊造

第参輯

研究

短期手工講習会をして取扱も有利ならしむる方法如何

全国師範学校 冬季手工講習会議事録

全国師範学校 冬季手工講習会科外講演の

手工教育に関する経済的観

教育上に於ける手工教師の位置

図画教授につきて

欧米図画科教授の状況

図画教授に関する意見

師範学校手工工具の整理法に関する 実践

評論

日本手工厚論著者の手工科教授書に対する批評を駁す(一)

雑録

手工科試験問題

手工研究会長野県支部設立建議書

質疑

会員新宮宣蔵君の質疑に答ふ

一五一ページ

奥山新治郎

記 者

白仁普通学校 局長

加納 治五郎

小山 正太郎

白濱 徹

阿部七五三吉

菊地午之助

岡山 秀吉

斎藤 金造

記 者

会員菅島吉三郎君の質疑に答

新刊紹介

寄贈図書

会報

集会

会費異動

新入会者

会費領収

会告

附録 師範学校教員手工科講習要項

手工関係図書一覽

第四輯

研究

手工研究会討議会議事速記録

建議

石膏細工に於て

記 者

一四三十三ページ

出席者 上原 大四郎

板倉 贊次 阿部 七五三吉

佐野 正造 森 利平

山本 清照 藤 五代策

菅島 吉三郎

手工教授の様式

園画科併進成績帳使用上に就て

紙製遊花実験の三

麦稗細工

幾図と製作品との関係

竹籃細工

運動会の手工遊戯につきて

ボル切の改良につきて

はきあつめ

手工科と智能の実質関係

竹細工教授上に於ける材料供給の方法

研究二件

△評論▽

文部省に陳 英国教育品成績物につきて

列したる 日本手工原論著者の手工教授書に對する批評と駁す(完)

山主塵作氏著小学手工教授書を讀む

東京市本郷小学校手工科教授參觀記

△通信▽

山形県内本年度夏季手工講習会

成都通信

清国湖北兩湖附屬教員室張焯君寄稿

奥山 新菴

落合 浩

山本 清 熊

積 塵 生

松田 福太郎

藤 五代 策

佐野 正 造

佐野 生

牧田 稚 松

森 利 平

木内 菊次郎

白山 樵 夫

岡山 秀 吉

作井 生

森利 平 記

武田 留 蔵

大島 生

△雜録▽

文部省視学官之竹岩造氏講演の要領

東京市本城小学校の手工科に於ける過去と現在と未來

スロイド教授法

補習夜学校の手工科加設の状況

愛知県第一師範学校最近の概

文部検定手工科予備試験問題(明治四十二年八月施行)

山本 生

阿部七五三吉

積 塵 生

上原 三 郎

△会報▽

集會

會員異動

新入會者

會費領収

會告

會員諸君手工研究会規則

△附録▽

手工関係圖書一覽

第五輯

△研究▽

手工研究会討議事速記録

出席者

上原六四郎

明治四十二年十月三日

一三一ページ

板倉 賛治
 佐野 正造
 藤 五代 策
 松田 福太郎
 岡山 秀吉
 阿部 七五三吉
 山本 清熙
 奥山 新治郎
 内海 静
 岡山 秀吉
 山本 清熙
 山本 清熙
 藤 五代 策
 齊藤 金造
 木内 菊次郎
 清水 福市

手工教育に就て

長野新沼三郎 手工科教授視察録
 感情教育と手工科との関係
 紙製造花研究会の状況
 竹籃細工

手工教科室設計案

石膏細工につきての研究

長野県師範学校附属小学校 手工科教授状況

△評論▽

東京市麹町区永田尋常小学校 參觀記

△質疑▽

文部省検定手工科教員試験に應ずるの準備

△雑録▽

第七回全国連合教育会に現はれたる中学校

に手工科加設の建議案

本校に於ける手工科作業実施に関する調査
 手工科新設に就て

△会報▽

集会

奥山 新治郎
 中垣 兵次郎
 平林 昌樹

臺 南 生
 奥山 新治郎

会費異動

新入会員

会費領収

会告

手工研究会規則

本誌前輯目次大要

手工関係圖書一覽

第六輯

明治四十二年二月三日

八五ページ

△口絵▽

会告

謹賀新年

東京高等師範学校本科回画手工専科製作品

紙造花(春夏秋冬四季花)

本誌の改良に題す

△研究▽

手工研究会討議會議事速記録

東京府豊島師範学校手工回画教室設計案

中学校に手工科を加ふべし

洋紙細工

手工教授者ノ重任

材料ノ給予及ビ製作品処理

原田 義作
 岡山 秀吉
 奥山 新治郎
 武田 留蔵
 中垣 兵次郎

手工成績考査に関する説明

紙造花実験の六 水仙

手は凡ての道具の基本形なること

小學校女子木工教授の状況

砥石の産地

はきあつめ(前承)

手工科批評教授案

手工用具設備に関する考案の募集

普通教室に於ける木工加設の方法

〆雑録

手工教授の現状

手工教授の一時間

手工教授ノ實際

手工科準備試験問題

〆通信

清國手工教育状況

〆会報

集會

新入會員

會費領収

手工研究会規則

本誌前輯目次大要

中垣 生

山本 清 齋

藤 五代 策

小穴 正 義

阿部七五三 吉

佐野 正 造

小林 淳 助

手工研究会

山本 清 齋

幸 繁 平

加賀山 雅

勝部 彥 主

張 焯

第七輯

明治四拾三年五月卅日

七二ページ

會告

口絵二葉

〆研究

切抜細工につきて

手工科教授概感

教材及び教授時數に関する調査

地形固ヨリ模型ノ製作ト

紙造花実験の七 桔梗

手工科に関する本県知事諮詢問題に付て

手工科に関する本県知事諮詢に對する答申

オットロモン氏の略伝

実行的教育の必要を論じ、図画手工の必要に及ぶ

台板の考案

〆雑録

第三回萬國美術會議に於ける各議員の美術教育に對する意見を紹介す

岡山視學委員の巡視につき所感

第六輯の誤を正す

東京市手工科研究会開設状況

共進會鳥渡のそま

板倉 贊 治

岡山 秀 吉

中垣 兵 次 郎

桑床 常 松

山本 清 齋

山田 春 翻

兵庫 豊 教 育 會

佐野 正 造

作 井 生

武田 留 蔵

奥山 新 次 郎

積塵 堂 主 人

武田 留 蔵

森 利 平

山本 迂 生

△雑報▽

文部省の諮問案

竹細工と工芸徒養学校

文部省検定試験

回画手工授業參觀要項

回画科

手工科

手工に關係ある工業品輸出額

我國に於ける陶磁器業

長野県に於ける美蕙細工品評会

東京玩具研究会の発展

△新著紹介▽

△会報▽

集会

新入会員

会費領収

手工研究会規則

本誌前輯目次大要

第八輯

明治四十三年八月十一日

六三ページ

△口絵▽

東京高等師範学校及附属小学校の手工製作品

明石女子師範学校回画手工室

△研究▽

東京高等師範学校附属小学校に於ける回画

手工科実施要領

倫理學上に於ける流動主義と手工科

製作圖の画き方に就て

造果細工

紙造花実験の八

竹籃細工

手工教授の成績処理法

手工科回画科教授状況視察所感

手工科研究に対する余が卑見

麦稗細工

福岡県女子師範学校手工科特別教室の設計

△雑録▽

配色の原理

会員武田留蔵君の誤解を正す

女兒に課する手工

師範学校手工科教授要目

東京市手工科研究会総会式

岡山 秀吉

阿部 七五三吉

奥山 新次郎

武田 留蔵

久保田 豊次郎

山本 清熙

藤五 代栄

小穴 正義

斎藤 金造

平松 手堂

積慶堂主人

杉原 豊方

積慶堂主人

山本 清熙

文部 省

〈質疑応答〉

五件

岡山 秀吉

〈新卒者紹介〉

〈会報〉

集会

新入会員

会費領収

本会規則

本誌前輯主要目次

第九輯

明治四十三年十二月十日

六三ページ

会先

〈口絵〉

東京高等師範学校手工産物科製品金彫及木彫

群馬県伊勢崎尋常高等小学校に於ける手工用煤黒

及粘土細工成績品

〈研究〉

手工と他学科との關係

色彩教授に就て

意志教育と手工の關係

紙造花実験の九 梅

上原 六四郎

岡山 秀吉

山本 清 熙

山本 清 熙

小学校用焼窯の色々

製陶器の考案

小学校に於ける女兒の手工

幾何画粘土細工教授案

国定小学読本中手工教材に關連せる事物

手工教育必要論

〈雜錄〉

秋の英進会のこと

手工品展覽会出品紹介

〈会報〉

集会

新入会員

会費領収

本会規則

本誌既刊目次大要

牧田 稚松

松本 常壽

藤五 代策

小穴 正義

青山 生

奥山 新壽

山本 延生

第十輯

〈口絵〉

清國に於ける手工

〈研究〉

八八ページ

粘土及糊葉の研究

手工教育必要論(オニ)

女子の木工実験

豊多摩郡教育展覧会を觀る

紙造花実験の十

小学校用燈籠の色々

會員諸君の研究の草々

平本立兼書見台の考案

手工科と他学科との關係

雑録

手工科は隨志科として採らば中學校

に加へられんとす

神戸市立小學校手工科の現況

我が誤解を正されたる山本君に感謝す

秋の共進会のそまの二

玩具の研究

富永弁吾

奥山新治郎

萱島若三郎

武田留藏

中垣生

山本清熙

牧田推松

山本迂生

三宅久太郎

上原六四郎

記者

富永弁吾

武田生

山本迂生

第十一輯

明治四十四年九月十五日

八五ページ

口絵

東京高等師範學校國畫手工専修科四十四年

卒業生成績品

台湾總督府國語學校手工科成績品

岡山先生を送る

研究

改米に於ける手工及回画の状況

(紙細工)尋常一三学年女子の手工として

各種の手工に対するオトサヒモンの意見

粘土細工に關する研究

雑録

台湾總督府國語學校手工科成績品寫

真に就て

手工科に關し參觀者の質問に対する答

答録

小学用簡易陶器

送一戸先生回函序

紙造花実験の十一

手工品展覧会の状況

神奈川三重愛知静岡岡泉手工科教授状況

会報

服部穂学官講演

山田春耕

阿部七五三吉

富永弁吾

守屋基三郎

山本清熙

山本迂生

岡山秀吉

集會

新入會員

會費領收

會告

第十二輯

明治四十五年四月廿一日

七〇ページ

ハ口絵

送別岡山先生記念

台湾國語學校実習及製品

ハ論説

小学校の手工科に關する規定の改正に就きての名家の意見

小学校令一部改正の結果手工教育の側

改正令中の手工科に対する私見

改正小学校令による高等小学校手工科教授細目を示して手工の加設を望む

ハ研究

第五教

本校に於て考案したる手工科用具類

小学校手工科批評教授

岡田 良平
手島 精一
榎山 栄次

一戸 清方

藤 五代策

山田 春耕

上原 六四郎

下川 兵次郎

青山 生

尋常科女史第二學級手工科批評教授案

ハ評會記事

立案の精神

台湾總督府中学の手工科

台湾小公學校教員手工科講習會概況

小学校用燒蕙の色々

富永君の燒物研究につきて

エス・ホラク氏の國畫教授法

実験ほかき細工

関 伊豆枝

木次 嘉一郎

守屋 基三郎

牧田 権松

牧田 権松

下川 兵次郎

ハ雜録

手工科予備試験問題

ハ通信

ハ會報

集會

新入會員

會費領收

會告

第十三輯

大正元年九月十二日

八二ページ

ハ口絵

ホーレスマンスクール 手工教室及製作品

〈研究〉

手工科教授細目編製調査案
東京市場高等小学校手工科教授細目
編纂要項

高等小学校男子手工科教授細目

高等小学校女子手工科教授細目

東京市高等小学校手工科製図教授細目

尋常小学校手工科教授細目

紙造花教授書を公にせし所以を述べ

磁器及石炭煙成実験

エスチラクの図画教授法(続)

山本清照

富永弁吾

〈通信〉

紐育市のホーレスマン・スクールの状

況(一九二二、一九二三)

岡山 理事

〈会報〉

集会

新入会員

会費領収

〈研究〉

改米近時の手工科教授
小学校に於ける手工科批評教授案と批評
要項

誰にも出来る簡易な金粉塗

破れ易きものを破れぬ様にする方法

棚橋 深太郎

萱野 吉三郎

萱野 吉三郎

〈通信〉

〈雑録〉

米回手工教育の概況

岡山 秀吉

岡山 秀吉

〈会報〉

集会

新入会員

会費領収

第十五輯

大正二年八月九日

五五ページ

〈仁給〉

故手工研究会長上原六四郎先生

〈哀悼記念〉

岡先生よりの御妻翰

故上原六四郎先生追憶録

森 利平

目次

第十四輯

大正二年四月九日

四四ページ

手工教育の周祖上厚大四郎先生歿く
上原先生の御逝去を悼む
阿部七五三君

手工教育の先輩者故一戸清方君略歴
山本清徳君の手工科に関する遺稿談
阿部七五三君
森 省我

〈実験研究〉

柚葉に関する理論
古新聞の利用法
批評教授案及び批評事項
富永 弁吾
萱島 吉三郎
下川 兵次郎

〈会員消息〉

青山小学校手工科実施状況
次号予告
柴田 正治

〈通信〉

〈会報〉
集會
親入会員
会費領収

第十六輯

入口絵

五九ページ

〈研究〉

東京音楽学校長湯原元一先生の手工教育談
色板挿は手工教材中より除去すべし
尋常科女児米田学級手工科批評教授案
東交簡易洗濯法
奥山新治郎
下川 生
萱島 吉三郎

〈会員消息〉

東京女子高等師範学校手工科の状況
廣衣義塾幼稚舎手工の現況
藤 五代策
山内 定太郎

〈雑報〉

米国小学校手工教育調査報告
東京市手工図画研究会の近況
東京市手工図画研究会規則

〈会報〉

集會
新入會
会費領収

第十七輯

入口絵

米田組育つらうト学陸手工研究部之実習室

大正三年三月十五日

五六十八ページ

△研究▽

改米に於ける手工専科教育養成の状況

岡山 秀吉

鉛筆の製造法につきて

佐野 正造

東京市に於ける紙箱製造業状況調査

青藤 金造

製図問題につきて

下川 兵次郎

小学校手工教授案

青山 生

△雑録▽

米夏及仙國に於ける手工科研究報告

文部 省

岡山会長の講演

△会報▽

集会

新入会

会費領収

△特別会誌▽

手工研究大会開催予告

手工研究誌の一大革新

手工研究会規則

第十八輯

△革新号の辞▽

大正三年五月一日

一四十九ページ

革新号の辞

下川 兵次郎

△思潮▽

改米に於ける手工専科教育養成の状況(三)

岡山 秀吉

我が国普通教育に於ける手工教育の発展

阿部 七五三吉

手工教授の目的と最近の教育思潮

奥山 新治郎

手工教授に対する新研究

宮林 美治

△研究▽

如何にして児童に工業の趣味を長ずべきか

藤 五代策

図按

板倉 賛治

我が平素

藤田 綱八郎

最も簡易なる粘土着色法

丸岡 伊三郎

運動会と手工的競技につきて

佐野 正造

ノートの作り(手工のミヒビト)

平松 唯治

刀剣製作の方法

下川 兵次郎

活字製造の方法

青藤 金造

手工科実地授業教案

青藤 金造

△雑録▽

改米の大都市に於ける手工教育

岡山 秀吉

新文様手工科予備試験受検記

岡崎 浅次郎

日用工業品案内(現代の工業所載)

事務所の移転

会費未納の諸君へ

會員募集

燒粘土の安売

手工研究会規則

目次頁々 第十九輯

大正三年七月廿九日

九五ページ

△特別会報▽

上原六四郎先生記念銅像建設費募集

第三回手工研究会大会状況

南会の辞

会務報告

会計報告

会員五分肉演説

上原先生追悼会の記

△思潮▽

手工教育の振興を望む

造形美術の飛躍

實際社会に対する手工科の意義

△研究▽

錦華式加工粘土細工工程

折紙の新工夫

尋常科女史第四学級手工科批評教授接

△雑録▽

文部省主催手工科講習会の概況

全国回画手工科教員協議会

第五回全国小学校教員会議及び全国教育大会に於ける文部省諮問案及其の決議

全国教育者大会議事

東京市手工回画研究会総会状況

現在の回画手工教育の欠陥に対する救済策

手工科に就て

事務所の移転

会費未納の諸君へ

会員募集

燒粘土の安売

手工研究会規則

△会報▽

集會

本会・員録

会費領収

窪田 実

土井 壯良

菊池 大麓

森 利平

岡本 安晴

山田 権三郎

藤田 綱八郎

北垣 巳之助

奥山 新治郎

板倉 理事

阿部 理事

岡山 会長

岡山 会長

阿部 理事

板倉 理事

奥山 新治郎

北垣 巳之助

藤田 綱八郎

山田 権三郎

岡本 安晴

森 利平

菊池 大麓

土井 壯良

窪田 実

高羽 幸穂
西館 弥輔
青山 生

〈特別会報〉

上原大四郎先生記念銅像建設費募集
小學校手工科法令の改正に關する建
議の件報告

岡山 秀吉

〈思潮〉

最近之芸術教育問題幼教育作業者
教授

乙竹 教授

學校教育の改革的方案として自由作
業の行はれんことを希望す

模山 栄次

閉却せられたる手工の一方面

星田 武一郎

造形美術の発達

土井 壮良

会費増額の件

〈研究〉

硬質陶器に就きて

成田 信一郎

女子に課すべき手工教材

山田 春耕

全国師範学校手工科經費一覽表

成田 信一郎

複写的粘土細工

西館 琢輔

〈雜録〉

大正三年六月初等教育研究会主催全
國回画手工教員協議会状況

東京市手工回画研究会講演会状況

東京市手工回画研究会講演会状況

講習会一東

高師手工教室より

文庫手工科試験問題

大正三年八月施行第十八回教員檢定試験
合格者

近來の出版に係る好参考書類

工業教育發展の兆

実業教育調査

文部省手工科講習講義要録

粘土燒窯の安売

〈会報〉

第三十一輯

大正四年二月三日

六四ページ

〈特別会報〉

上原大四郎先生記念銅像建設費募集の件
本会總會状況
会費改正につきて

〈思潮〉

手工科の振興に就いて

回画教授の傾向と志せられらるる研究問題
時尚と手工教員

岡山 秀吉

阿部 七五三吉

大倉 征次郎

星田 武一郎

余の抱負

〈研究〉

短時間製作のこゝ

複写的粘土細工

手工科新教材

手工科教授案及び批評

星田 武一郎

板倉 賛治

西館 琢輔

青山 生

青山 生

〈雑録〉

東京市手工回画研究会近況

長崎県回画手工研究会発会式状況

新刊回書

〈会報〉

集會

大正三年十月十日より同年十二月三十一日

までの入会者

会費領収

第二十二輯

大正四年三月廿一日

六四ページ

〈思潮〉

手工科振興策としての根本義

人格と生活と勤勞精神との關係

手工回画の教育的価値

W S 生

谷山 静生

永迫 藤一郎

中央手工教場を設くるの急務
最近の芸術教育問題勤勞教育作業教育教授
我が國に於ける玩具業の飛進

森 利平

乙竹 教授

藤五代 策

〈研究〉

手工科教授批評に因する研究

手工科新教材

青山 生

岡山 秀吉

〈雑録〉

東京市手工回画研究会近況

秋田県二期手工講習会概況

高松市立

昇高枝 手工展覧会の開催に就て

静岡県手工研究会
会費通信三つ

なにかし

中村 正元

丸岡 伊三郎

松下 定次郎

〈業報〉

明治四十五年四月より大正二年三月に至る我が國手工教育の状況は左の如し

新しき手工科

上村将軍現代の教育を罵る

女子工業教育

副業奨励方法

印度輸入の玩具

〈会報〉

例會

新入会者

会費領収
会費の徴収につきて

手島精一

第三十三輯

大正四年五月十四日
六七ページ

△見潮▽

本会の事業に就いての所感ニ
手工教授の革新
如何にして女子の工業常識は養成し得
らるゝか

岡山 秀吉
齊藤 金造

手工科に於ける知識把握
国民教育に於ける手工科の立場

梅村 根涯
谷山 静生
神 淡子

△研究九▽

固定新定画帖の取扱について
余は斯くの如くして教授せんとす
陶磁器業の過去及び将来に就て
将来の図画科及手工科教科書

阿部七五三吉
佐野 正造
藤 五代兼

手工科用具に關する教授事項の研究
静岡梶川尋常小学校手工科施設一般
まび釋細工と廢物利用

高紳附属小学校
同科研究部
川 生
松下 定次郎
森 利平

△彙報▽

實際生活に就て
工業教育培養
の難様

変った玩具
貴婦人と家庭博

△新刊紹介▽

△会報▽

集会
会員異動
新入会者
会費領収

第三十四輯

大正四年七月廿五日

七〇ページ

△思潮▽

手工教育に就て
完全なる手工科の設備
ケルシエンヌタイナー氏の手工科に對する見
解

瀧沢 菊太郎
岡山 秀吉

廢物利用と經濟思想

谷山 静生
下山 兵次郎

△研究九▽

手工教材の新研究

藤 五代兼

高学年の手工科につきて
尋常科の児童第三学級手工科批評教案
手工教授の革新を望む

梅村 楓 涯
H S 生
宮部 次郎 吉

〈雑報〉

文部省南佐手工講習会に於ける協議会状況

七 生 報

東京市手工図画研究会第五総会状況

荻原 細工

曰曜の手工教室で

岩間 勤 四郎
静 生

〈会報〉

本会総会記事

謹告

集会

会員移動

新入会者

第二十五輯

大正四年十一月八日

六〇ページ

〈思瀟〉

手工科教材選材選抜改良意見

手工科重視論より右教科への要亦

造形美術の発達

手工七工業

岡山 秀 吉
谷山 静 生
土井 杜 良
手島 精 一

〈研究〉

色板排紙の可否を論ず

折紙の過去及将来に就て

金網細工の研究

色板排折紙につきて

朝比奈清作
藤五代 策
松下 生
宮林 美 治

〈雑報〉

文部省南佐手工講習会に於ける協議会状況

七 生 報

日常家庭に於て取扱ふべき器具及金屬類の手工法

山下 定 吉

手工科参考書類

手工科予備試験問題

全四冊 第三十九回手工科予備試験及筆者

文庫手工科受験の案

文部省手工科の受験に就て

岡山 秀 吉

〈会報〉

謹告

集会

会員異動

新入会者

会費領収

第二十六輯

大正四年十一月三十日

〈思報〉

文部省主催第一回全国小学校教員手工科講習会開会式に於ける高田文部大臣訓示要領
運動教育として見たる技能科の教授
学校と生徒の生活

S A 生
S A 生

Demio氏の学校

七 生

〈研究〉

予か見たる欧米の職工
珙瑯鉄巻に就て

岡山 秀吉
成田 信一郎

東京女子高等師範学校附属小学校手工科教授の要旨

藤 五代策

色板排への教育的価値に就て

茨 遠 達 生
斎藤 金 造

〈彙報〉

文部省主催第一回全国小学校教員手工科講習会開会式状況並に同講習会要項等
朝鮮の手工界

川 〇 生
松田 福太郎
朝比奈 清 作

静岡果師範学校手工科研究会報告
新刊紹介

〈会報〉

例会第百三十四回
新入会者

第二十七輯

大正五年二月六日
七〇ページ

〈思報〉

文部省主催小学校教員手工科講習会所感
晶子と謝野女史に呈す
造形美術の発達

岡山 秀吉
谷山 静生
土井 壯良
下川 兵次郎

〈研究〉

葉書の製造場參觀記
手工新教材

川 S 生
藤 五代策
樋口 益次郎

色板排と折紙につきて
小学校手工科教材としての組紙及紐結に就て
慶元義塾の手工

平井 暢 =
下川 平次郎

〈雑報〉

編輯部回顧記
淡路小学校保護者会の美芸
第貳拾九回大正四年度教員模範本試験手工科問題
岡本氏考案の切抜

川 S 生

手工科講習会

△会報▽

例会第百三十七回

新入会者

会費領収

第二十八輯

大正

五年三月三十日

六ニページ

△思潮▽

手工図画併合論

造形美術の発達

手工科時言

△研究▽

簡易実験普通塗物術講義(一)

板金工基礎的練習の一例

手工科管見録

手工科新教材

△雑録▽

第三回文部省主催全国小学校教員手工科講習会閉会の状況

手工のナイフ新案

押切の字売り残品廿個

△会報▽

会費につきて

例会第百三十八回

新入会員

会費領収

△附録▽

会員名簿

第二十九輯

大正五年五月十九日

六六ページ

△思潮▽

国産博奨の意義に就て

稲毛祖風氏の技育革新を評す

手工視学設置の必要を論ず

手工科時言

△研究▽

簡易普通塗物術講義(二)

実験普通塗物術講義(三)

理科教材陶磁器に関する教授資料

組紙と紐結に就て

木工教材研究

高等小学校の課外としての手工

手工科新教材

手島 精一

谷山 静生

富永 弁吾

下川 兵次郎

岡本 秀吉

附属小学校

富永 弁吾

樋口 益次郎

B T 生

育藤 金造

山下 定吉

石川 女将

石川 女将

石川 女将

石川 女将

石川 女将

石川 女将

石川 女将

石川 女将

石川 女将

石川 女将

石川 女将

石川 女将

石川 女将

石川 女将

石川 女将

△雑報▽

手工科予備試験用器画問題の質疑に答ふ

S T 生

△会報▽

通俗家庭玩具講義
通俗家庭玩具講義附録

下川 兵次郎

△雑報▽

第百文部省主催全国小学校教員手工科講習会の状況
神田区淡路小学校の手工教室

H O 生

第三十輯

大正五年七月廿三日

大〇ページ

△思潮▽

手工教育振興の好機
実行教育に就いて

岡山 秀吉

晶子女史の反駁に付き一言す

H O 生

再び与謝野晶子氏へ

谷山 義毅

晶子女史の駁論に敬意を表す

杉浦 秋次郎

手工科並用論を挿す

平松 止水

与謝野氏の説に對する反駁

富永 弁吾

手工科時事

朝比奈 巴江

高等小学校手工科専科教員の技能修養に
関する講習演習案

富永 生

△研究▽

切抜細工に つきて

久保田 聖次郎

手工教室と課外に使用せしむることにつきて

H S 生

手工科資料

K S 生

手工科批評教授案

H S 生

第三十一輯

大正五年九月廿四日

大四ページ

△思潮▽

手工科教授上一般的陶冶と職業的陶冶とに就いて

岡山 秀吉

手工科振興案

富長 弁吾

手工科雑感録

朝比奈 巴江

△研究▽

地方に
於ける 職工補習教育問題

高橋 栄五郎

静岡県附設果立実業補習学校案内
師範学校

徳島県手工科協議会につきて

岡本 安晴

手工科教授之方針附教授細目

高島 貞

手工新教材

藤 五代策

木工教材
手工科教材研究の二方法
簡易普通塗物術講義(三)
実験普通塗物術講義(三)

〈雑報〉

大阪手工講習会側面観
新手工書出づ

〈会報〉

原田義作
榎野寛蔵
岡山秀吉

B T 生

第三十二輯

大正五年十月廿二日

六二ページ

〈思潮〉

手工科設備の改善を望む
固定手工書の編纂を望む
手工科近時感想録

〈研究〉

手工科成績考査に就いて
手工科教授の方針と教授細目
修身手工連結教授
簡易普通塗物術講義(四)
実験普通塗物術講義(四)

岡山秀吉
松田福太郎
宮林美治

星田武一郎
高島貞
平松止水
岡山秀吉

〈彙報〉

文部省主催小學校教員手工講習に就きて
永迫藤一郎

石川県河北郡小工講習会概況
静岡の手工夏期講習会に就て
和歌山県設手工科夏期講習会状況
第三十回教員検定予備試験手工科問題
查査度

〈会報〉

第三十三輯

大正六年二月二日

六四ページ

〈思潮〉

發明界の発達と理科及び手工科教授
各行県に於ける手工科の講習会展覧会並に
手工科の研究会の状況(二)
私見の概要を述べて我國手工教育者に訴ふ
工芸美術教育問題

〈研究〉

都会地に於ける高等小學校國画科教授要目
の一例
手工科教授に於ける創作
児童の家庭に於ける生産的作業
手工科新教材
簡易普通塗物術講義(五)
実験普通塗物術講義(五)
東京市錦華尋常小學校手工科の施設に就
きて

星田武一郎
丸岡伊三郎
寒川和美

岡山秀吉
本会
平松止水
霜田静志誤

斎藤金造
松本佐一
山根大次郎
富永弁吾
岡山秀吉
高羽幸穂

〈雑報〉

手工の講習
竹材に關する質疑応答

ほりがし
森利平

六六ページ

〈会報〉

第三四輯

大正六年三月廿一日

六三ページ

〈思潮〉

手工教授の振作を望む
各府県に於ける手工科の講習会
手工科研究会の状況(三)
工芸美術教育問題

岡山秀吉

本会

霜田静志

〈研究〉

小學校女兒に課すべき手工の種類及程度
掛物表装法及取扱法
手工科新教材
簡易普通塗物講義(六)
実験

岡本安晴

小倉隆藏

高永弁吾

岡山秀吉

〈会報〉

第三十五輯

大正六年五月廿一日

〈思潮〉

日本人の手工に対する小林氏の所見を紹介す
手工科と手との關係に就て
各府県に於ける手工科の講習会
手工科研究会の状況(三)

小頼悦治
森利平

本会

〈研究〉

粘土品簡易着色法
手工科甲種講習会教授要項につきて
綴方教材としての手工科
切抜細工の研究
紐育手工教育の輪廓
手工科教授の一過程に就て
簡易普通塗物講義(七)
実験

梅村楓涯

高橋栄五郎

平松止水

丸岡伊三郎

岡本安晴

山根大次郎

岡山秀吉

記 者

〈会報〉

〈雑報〉
手工科文檢東

第三十六輯

大正六年七月十五日

六四ページ

〈思潮〉

拙著手工科新教材集の活用について
 新自学主義教育の環境と手工
 創作教育と手工科

〈研究〉

石川豊子師技能科研究会の状況につきて
 耐属会誌
 理科生諸君に玩具の研究を勧む
 手工科研究教授の批評に対する一所感
 簡易普通塗物術講義(八)
 実験

〈雑報〉

京阪地方視察旅行所見一節
 我が広島県下の手工科の不振を嘆いて実験
 家の狂者を促さん為めに
 高松靜賢小学校の手工展覧会
 仙台市高等小学校手工科は就て
 淡路小学校児童成績展覧会を觀る
 雑録
 高等女子学校の手工
 東京市手工図画研究会

〈会報〉

岡山 秀吉
 宮林 美治
 平松 止水

星田 武一郎
 藤 五代策
 平松 止水
 岡山 秀吉

青藤 金造

松本 佐一
 丸岡 伊三郎
 勝又 幸雄
 一考 親生
 丸岡 伊三郎
 S A 生

〈思潮〉

手工科の任務と練習事項
 創作教育主義を具体化せよ
 学校訓育と手工科
 新しき試み

〈研究〉

新定小学校手工科教授要目
 石川豊子師技能科研究会の状況(三)
 耐属小学校
 埋木細工
 小経験
 簡易普通塗物術講義(九)
 実験

〈会報〉

北垣 己之助
 丸岡 伊三郎
 平松 止水
 小沢 伴蔵

岡山 秀吉
 星田 武一郎
 勝又 幸雄
 朝比奈 巴江
 岡山 秀吉

第三十八輯

〈思潮〉

手工科の振興に關し文部當局諸君及び懐疑
 教育會議員諸君に本文の一説を乞ふ
 最新自学主義の環境と手工

大正六年十一月廿八日
 七六ページ

岡山 秀吉
 宮村 美治

〈研究〉

- 本校手工科教授の方針
- 手工用具に關する教授の系統
- 埋木細工
- 支那の玩具と手工品
- 簡易普通塗物術講義(完)

〈彙報〉

- 全国師範学校長會議傍聴記
- 参看雜誌
- 文藝事項
- 地方状況
- 中華民國通信

〈會報〉

第三十九輯

大正七年二月五日

六八ページ

〈思潮〉

- 手工科振興に關し特に師範学校手工教員諸君の奮起を望む
- 手工科教授の理論と實際
- 手工科振興策私論

〈研究〉

- 岡山 秀吉
- 宮林 美治
- 朝比奈 巴江

手工科教室の設備

- 殖産上より觀たる玩具について
- 手工科教授(母)につきて
- 簡易木工玩具
- 手工所感二題
- 福島県下小学校教員協議会につきて
- 近畿地方美術史跡一瞥

〈雜報〉

- 神奈川県師範学校附属小学校高等科手工及び同県第二小田原尋常高等小学校手工科状況

〈會報〉

第四十輯

大正七年四月廿五日

六三ページ

〈思潮〉

- 師範学校图画手工の選択科問題につきて
- 我國民の不正確不精密の悪習慣

〈研究〉

- 手工科教授の方法につきて
- 成績品見方の改善
- 地方的細工としての水口細工(公第一稿)
- 接合劑に就ての研究

- 岡山 秀吉
- 松田 三郎
- 平木 吉治郎
- 末 廣長

- 岡山 秀吉
- 下川 兵次郎

- 岡山 秀吉
- 下川 兵次郎
- 富永 弁吾
- 中林 生
- 平松 止水
- 柴原 清治

玩具に就きて

小学校手工科教授上改良すべき事項

〈彙報〉

大阪市手工教育状態調査

回画手工視察の所感

〈雑報〉

文部省主催小学校教員手工講習会開設

〈会報〉

しんかほ 生

高橋 久太郎

富永 弁吾

北垣 巳之助

文部省主催手工科講習会状況

大阪市手工教育状態調査

手工雑録

東京豊島区師範学校附属小学校の手工科概要

中華民国手工科教授事項

〈会報〉

しんかほ 生

富永 弁吾

熊谷 梅太郎

原田 義作

張 焯

目次

第四十一輯

大正七年七月廿五日

五八ページ

〈思潮〉

木工を課するの必要及び注意

手工教育に対する悲観者に与ふ

信念を以て教授に當るべし

個性尊重と適材教育論

〈研究〉

地方的細工としての水口細工

発表教科の取扱

男子理科男児第四学級手工科批評教授案

〈彙報〉

岡山 秀吉

斎藤 全造

宮林 美治

下川 兵次郎

平木 春治郎

高羽 幸植

なにかし

第四十二輯

大正七年十二月廿五日

(上原先生銅像建設記念号)

七一ページ

〈口絵〉

上原大四郎先生御宇真「同先生略歴」

上原先生銅像除幕式の状況「同先生銅像撰文」

上原先生銅像建設記念号発刊の辞

上原先生銅像除幕式次才

〈会計報告〉

上原先生逸事追憶録

上原先生追憶録

故上原先生の邦楽研究を想ふ

先生の温雅と趣味

上原先生所感

先生は金銭に淡泊のお方であった

岡山 秀吉

田村 虎蔵

杉田 稔

伊藤 萬葉郎

高木 武一郎

上原先生を懐ふ

上原先生を懐ふ

上原先生

上原先生の銅像なるに就て

所感

恩師上原先生を懐ふ

上原先生は書画骨董の鑑識家として世に
立てらる御方である

感謝

先生に対する所感

上原先生を懐ふ

上原先生に対する所感

南化村上の故が事実となった

除幕式に於ける追懐の二節

上原先生手工教育意見

上原先生追懐談

御祝詞申上候

恩師上原先生

噫上原先生

除幕式雑吟

上原先生の銅像のたれをよろこびて

故上原先生を思ひて

人雑報

文部省手工科検定試験

根岸良治

小倉隆蔵

大和田 勝

大島久平

熊谷梅太郎

草野 五郎

山田 春耕

松本 常三郎

松田 福太郎

古屋 正寿

小落 福吉

阿部七五三吉

音藤 金造

佐藤 平太郎

森 利平

野村 小太郎

塚 焯

下川 兵次郎

楓 涯

勝部 竜主

浅野 豊平

高野手工図画専修科設置

人會報

例會

入會

會費領収

會員消息

第四十三輯

〈思潮〉

今後の手工教育

手工科の根本問題

手工科に対する根本的考察

手工科教授雜感

〈研究〉

埋木細工

手工教授基本教材の取扱方

高島郡製作品展覧會視察の所感

青年團製作品展覧會視察の所感

廢物利用の誤解と矛盾

図画手工実習會

木工燒繪法

手工科批評教授案

大正八年三月廿五日

六三ページ

岡山 秀吉

永迫 藤一郎

宮林 美治

小倉 隆蔵

勝又 幸雄

西館 琢輔

北垣 巳之助

北垣 巳之助

北垣 巳之助

岡山 秀吉

H S 生

手工特別教室設置の趣意

茨路小学校

〓 雑報 〓

高師回画手工専修科設置

新著紹介

近刊書紹介

〓 会報 〓

総会記事

入会

会費領収

会員消息

第四十四輯

大正八年五月二十五日

六二ページ

〓 思潮 〓

手工科発展より見たる小學校令改正評

小學校令改正につきて

手工教育の新主張

魁因の位置

手工科に対する根本的考察

実費講習会を開け

手工科振興に就いて教育実務家諸君の一読を乞ふ

岡山 秀吉

阿部七三吉

八岐 義山

木檢 惣一

宮林 美治

宮林 美治

吉岡 啓三

〓 研究 〓

陶磁器硝子漆器及び木竹材につきて

色彩と手工教授

印刷作業実施に關する研究

手工教材

教育視察所感の一端

學校參觀記

石山村利用展覽會審査中の雜感

〓 雑報 〓

高師回画手工専修科設置

本会々員地方別入会歡迎

本会雜誌残本領受

甲府市立工芸學校林況

新著紹介

〓 会報 〓

會議

入会

会費領収

寄附金領収

会員消息

会誌

栗原 源治

板倉 贊治

山根 大次郎

藤 五代策

青藤 金造

佐野 正造

北垣 巳之助

第四十五輯

大正八年八月廿五日
七・四ページ

〈恩潮〉

独逸俵慶の勲勞に鑑みて回画手工科の振興と

叶ぶ

鉈塵余録

現代に於ける手工教育の任務

〈研究〉

印刷作業実施に關する研究

竹細工教材の二三

独逸の手工教育

〈狀況報告〉

茨城小學校連合手工科研究会概況

高松手工会を紹介す

手工科施設狀況

〈雜報〉

新著紹介

〈会報〉

新入会員

会費領収

会員消息

会告

第四十六輯

大正八年十月廿一日
五・三ページ

〈恩潮〉

手工科教授の任務

木材工業の前途につきて

〈研究〉

手工科課程案

工夫製作としての風車

副業と作業教授

本年夏季岡崎師範ニ於ケル手工エラブデー

〈彙報〉

文檢一束

東京高等師範手工科教室の新設備

全国回画手工教員協議会の狀況

〈会報〉

例会

入会

会費領収

会員消息

会告

特別会告

岡山 秀吉
高橋 栄五郎

回画手工研究部

大島 久平

平木 吉治郎

熊谷 梅太郎

木内 由之助
丸岡 伊三郎
横井 曹一

山榊 大次郎
小林 吉平
平木 吉次郎

牧ヶ野 教信
長谷川 規矩進
大内 一 二

大正九年五月廿六日
六八ページ

会員消息
会告

〈恩潮〉

回画手工総合教授につきて
手工科の改造を叫ぶ
創作的教育を探索して手工科教授に及ぶ

阿部七五三
小倉隆蔵
三苫正雄

〈研究〉

最新
教材枝細工(上)
我手工科細目
稲葉の利用法 輸出好望の平和織

西館 弥 輔
畠山 康 親
E O 生

〈雑報〉

東京高師小学校教員長期手工講習科設置
計画
九州連合同画手工教育大会
香川県香川郡手工研究会創設
三重県農家副業品展覧会を觀て
地方報情

記 者
横山 藤太郎
笠井 和 助

〈会報〉

特別会告
会議
入会
除名
会費領収

第四十八輯

大正九年十二月十三日
六八ページ

〈恩潮〉

全国師範学校長会議に於ける手工科権輿演
説
手工科教授に就いて
創作的教育を探索して手工科教授に及ぶ
生活に必要なる技能
手工教育と科学的論議の上に立脚せられよ

岡山 秀 吉
下田 次 郎
三苫 正 雄
小倉 隆 蔵
宮林 美 治

〈研究〉

最新
教材枝細工(フツミ)

西館 弥 輔

〈雑報〉

東京盲学校寫誌
徳島県に於る手工教育の傾向
飛行機上の感想
湯気と熱源
文部棟定一束
東京高師内小学校教員講習科の状況

藤 五 代 栄
野 崎 芳 五 郎
上 甲 次 郎
潮 人 鷗 史

〈会報〉

雑誌について

会議

会費徴収

入会者

会費徴収の伝

会先

行別伝

第四十九輯

大正十年七月五日

八八ページ

〈思潮〉

文部省手工科夏期講習会へ出席と希望す

東京市手工教育の改善につきて

戦後の教育と手工科

理科教授の革新と手工科

〈研究〉

我邦手工科教授の沿革

最新教材枝細工(続き)

青銅着色法及木材塗料につきて

人雑報

本会在京会員研究会景況

手工及手芸科文様受取者のために

岡山 秀吉

齊藤 金造

東京市下谷区入谷小学校

笠井 和助

原田 次郎

西館 琢輔

熊谷 直経

岡山 秀吉

東京高野内第三回東京市手工講習会の状況
徳島県手工図画科の近況
新著紹介

〈会報〉

会議

入会者

会費徴収

除名

会先

第五十輯

大正十一年二月二日

七二ページ

〈思潮〉

第五拾輯の発刊に題す

手工科の製図につきて

手工科の主要点と製作の意義及目的

余の手工科教授に対する確信

〈研究〉

我が校の玩具科

都市に於ける女子手工教育の研究

我が校の手工科教授細目

岡山 秀吉

阿部七五三君

中田 俊造

笠井 和助

加藤 俊雄

八幡市八幡高等小学校

柴田 正治

〈彙報〉

本展文部省南館手工科講習会要録
師範学校手工科教授上の諸問題

記 者

文部省南館手工科講習会概況

伊藤 信一郎 者

東京高師内第三回東京市手工講習会概況
横浜市主催回画手工品展覧会並に回画手工
教育協議会概況

記 者

金沢市小学校回画手工展覧会に就いて

佐藤 平太郎 者

文換一策

五島 考 嗣 者

〈大会〉

大会

例会

入会者

会費領収

会員消息

会告

〈研究〉

東京市児童回画手工成績品展覧会に就いて
の感想

岡山 秀吉

文化生法と孝案発明

山田 義郎

実習を行ふかよひ

富山 康親

過去満三箇年

佐藤 平太郎

〈彙報〉

富山県回画手工研究会概況

青森 善治

大正 青森県回画手工教授界

西館 生

当院木工科の概況

千葉 憲雄

東京市深川区八名川小学校

青木 次郎

東京高師回画手工専修科新卒業者赴任

〈新著紹介〉

〈会報〉

例会

入会者

会費領収

会員学転、転展

会告

特別広告

第五十二輯

六六 ページ

〈思潮〉

技術教育の普及と技術博物館建設の義務

佐藤 功 一

技能科不振と吾人の態度

杉原 豊 方

各師範学校手工科教師に望む

平田 幸 市

第五十二輯

五三 ページ

〈思潮〉

手工科の改善

ヴニヤに就いて

所感

高学年の手工科に対する一考察

東本 貞治

比 甄 志

山内 作太郎

丸山 己三郎

第五十三輯

〈思潮〉

技能科振興の必要

専科教員の待遇を論ず

手工科教授に對する愚見

六一ページ

岡山 秀吉

阿部七五三氏

宮原 賢三

〈研究〉

手工科成績高様構模型

鍛工の要訣(一)

手工科教授研究会の状況(一)

梅村 久麿作

岡山 秀吉

笠井 和助

〈彙報〉

我が中学校に於ける手工的作業と豊橋市團

画手工教育の状況

三重県下手工科実施状況

教員検定予備試験手工科問題及び合格者

文部省手工科夏季講習会状況

東京市手工講習会終了

細島 昇一

富田 馨吾

〈研究〉

本多厚太郎 鋼の焼入

研究に就いて

新板金工について

手工科教授研究会状況(二)

〈彙報〉

岐阜師範附屬主催回画手工研究会及作品展

覽会に於て

広島県下に於ける回画手工科振興運動と広島

島手工研究会状況

世界児童自由画手工展覧会

東京高等師範学校回画講習会

回画科協同協議諸問題

東京市本所区練馬常小中学校手工科設備工覽

教員検定手工科本試験

〈会報〉

橋本 祝二

米山 利助

〈会報〉

大正十二年六月总会状況

入会者

会費領収

会費消息

特別広告

会費領収
会員消息
特別広告
手工研究会之員名簿

第五十四輯

△口絵△
写真

△思潮△

技能科振興の一策
現代の殺人的教育を排す
新實用主義の手工教育
手工科を愛して

△研究△

鍛工の要訣(三)
クレヨン画につきて
神戸小学校手工科工科設備の一般
手工教育に対する本校の態度並びに取扱上の精神

△彙報△

大分県手工科状況

六二ページ

根岸 良治
三苫 正雄
丸山 巳三郎
足立 重廣
岡山 秀吉
原田 陸諱
小瀬 悦治
小沢 伴蔵
平田 幸市

大阪市手工展覧会參觀記
福岡県八幡市手工教育発展状況
群馬県前橋市手工展覧会状況
青森通信
愛知県下における図画科教員活動状況
手工発展意見書

△会報△

在来会員研究会
例会
入会者
会費領収
会員消息
特別広告

第五十五輯

△思潮△

真面目な手工教育を望む
岐阜県師範学校 動力設備を中心として
手工教室に於ける
教授思潮と手工科の普及発展
手工振興のために
手工科の側面観

六二ページ

生 〇 生
記者 生
記者 生
記者 生

阿部七五三吉
伊藤 信一郎
齊藤 善治
長谷川規矩進
三輪 捨三郎

天下の識者に質さん

〈研究九〉

建築とは何ぞや

新板金工に就いて

教育上より見たる熊本玩具

〈彙報〉

第三十八回 教員検定予備試験手工科問題
大正十三年度

同教員検定予備試験合格者

三重県鈴鹿郡手工展覧会に就て

山口県手工科の概況

文部省主催動力博覧会への学校手工出品

滿洲地方手工科状況

総会席上の五分演説

〈会報〉

在京会員研究会

例会

総会

入会者

会費領収

会員消息

会告

特別広告

吉岡啓三

第五十六輯

五九ページ

岡山 寛太郎

草野 五朗

野崎 芳五郎

〈思潮〉

震災雜感

大震災と手工科の真価

我が手工教育観

岐阜県師範学校 動力設備を中心として
手工教育に於ける

〈研究九〉

我が校の復興について

大震災後に於けるバラック建築と手工

自由彫塑を批判す

農村電化工業問題

〈彙報〉

第三十八回 教員検定本試験手工科問題
大正十三年度

第三十八回 教員検定本試験手工科合格者
大正十三年度

青森手工協会の設立

福岡県八幡市 理想的手工教室の完成近し
高井小学校

〈会報〉

入会者

岡山 秀吉

山内 作太郎

小倉 隆蔵

伊藤 信一郎

吉本 秀介

中山 耕一郎

細島 昇一

斎藤 善治

西館 珠 輔

会費領収

会員消息

会告

手工研究会会員名簿

第五十七輯

六七ページ

〈口絵〉

東京市銚子洲尋常小学校職員の作業

仙台市五ヶ橋高等小学校の特別教室と手工品販売

〈思潮〉

手工に於ける観賞教育

創作手工に就て阿部氏に呈す

余に送られた石野君の創作手工に答ふ

専科教員待遇について

〈研究〉

セルロイド加工法

富山県師範学校の手工

手工研究の一

手工教材の研究

手工的クレオン画に就て

〈叢報〉

仙台市手工教授の概況

福岡県八幡高等小学校手工科の理想的施設

神戸市立小学校手工科設備

滋賀県豊和郡手工研究会状況

東京高針手工室便り

専科教員待遇につき当局との交渉

新著紹介

〈会報〉

臨時総会

木工教材研究会

竹監細工研究会

例会

入会者名

会費領収

会員消息

会告

大島久平

記 者

小瀬悦治

小林豊吉

藤井淳

見山生

第五十八輯

五八ページ

〈口絵〉

(上)三重県師範学校生徒の成績品

(下) 福井県師範学校生徒のバンドソーにて
曲線切断作業の実況

△思潮

手工科を必須科と為すことに関し文政審議
委員諸公の徳当なる審議を希望し併せて文
部当局者の再考を望む

教化類型の過程より見たる手工科の位置

我科教育と純粋美的批判との交渉

△研究

帝都復興に對する手工科の經營

創作と模倣について

メートル尺に就て

農具を生んだマツチの棒細工
新しい教材

△彙報

茨城県下小學校手工科の狀況

東京高師手工室便り

手工科予備試験問題(第四十四回)

手工予備試験合格者(第四十四回)

岡本試験問題

手工本試験合格者

大正十三年文部省主催夏期手工講習会狀況

△会報

総会

懇親会

岡山 秀吉
十五名連名

宮本 幸恵
五島 考嗣

横田 仁郎
宮本 惣吉

平田 幸市
出町 寛一郎

篠崎 岳
藤井 淳

記 者

故上原先生の墓参

入会者

会費領収

会員消息

会告

第五十九輯

七二ページ

△口絵

(上) 国立武蔵野学院に於ける少年木工実習狀況

(下) 東京市緑小學校児童手工成績画

△思潮

時事問題の二三

現代芸術教育私観

△研究

手工科教育の美的考察

樹木の其名称と起因

動力設備成るまで

△彙報

群馬県師範学校々友会に於ける手工科研究
発表会狀況

名古屋市小學校連合教育研究会狀況

岡山 秀吉
阿部七五三吉

中野 広
千葉 以生
久木田 生

滋賀県手工科状況一斑
文様手工科予備試験問題
新著紹介

〈会報〉

必復科建議問題について
入会者
会費領収
会員消息
会告
特別広告
手工研究会会員名簿

第六十輯

欠
毎

木工製図 其一 長テーブル
其二 脇置テーブル
本誌の月刊に題す
小西博士の労作教育と手工科
文化運動と手工教育
感化教育に於ける木工教授の趣旨
榊細工の研究

四四ページ

写真版

田附 八重郎

岡山 秀吉
野崎 芳五郎
高橋 栄五郎
千葉 憲雄
岸 正

仙台市手工教授の概況
鹿児島県に於ける手工教育の概況
新刊紹介
雑報
個人の動静

第六十一号(五月号)

大正十四年五月十五日

三九ページ

動力簡易設備
粘土及木工作品

写真版

ベンネット氏の手工科教材選抜論
我が国の教育と手工教育の将来
フィリッピンに於ける小学校の手工科
粘土細工に就いて(一)
師範学校規程改正要項及び同校改正手工科
教授要目
玩具授産場の創設
函館市に於ける手工科情況
雑報
新刊紹介
個人の動静
編輯余瀆

岡山 秀吉
阿部七五三吉
高野 雪治
伊藤 信一郎
神 風 生
藤 五代 策
工藤 惣之助
呼山 生
いと う 生

第六十三号

大正十四年六月十五日

四三ページ

写真版

設備及び作品
師範学校規程と同様手工科教授要目改正所
感

手工教授方法革新の一考察(上)

フリッピンに於ける小学校の手工科(三)

粘土細工に就て(三)

粘土素焼法

手工教材として、裁糸糸中心細工(上)
極めて有効なる

学事視察記要(上)

斎藤金造君の改米視察に趣かざるを祝す

雑報

個人の動静

編輯余滴

岡山 秀吉

山形 寛

高野 雪治

伊藤 信一郎

長谷川 曾一

佐藤 平太郎

阿部 七五三吉

岡山 秀吉

糸心 生

第六十三号

大正十四年七月十五日

四三ページ

写真版

裁糸糸中心細工作品

労作教育の問題(二)

手工科教授の佳点
手工教授方法革新の一考察(下)

小西 重直

小林 豊吉

山形 寛

手工教材として、裁糸糸中心細工(下)
極めて有効なる

手工科文検受験者のために
文検手工芸科受験者のために

私の手工科文検予備を受けるまで

学事視察記要(下)

啓明に關する講演会摘録

金剛砂砥石に就て

雑報

個人の動静

編輯余滴

佐藤 平太郎

伊藤 信一郎

岡山 秀吉

杉山 甚一

阿部 七五三吉

平田 幸市

柳 新市

糸心 生

第六十四号

大正十四年八月十五日

四三ページ

写真版

女子の手工作品
労作教育の問題(三)

女の手工

手工科が工業の飛達に及ぼす影響に就て

大正十四年度の手工科文検について

私の手工科文検本試験を受けるまで

外国材の日本木材界に対する影響
泥岩細工に就て

小学児童手工品展覧会 見所感

小西 重直

板倉 賛治

川島 治

岡山 秀吉

杉山 甚一

水上 武雄

杉岡 順
日高 良平

個人の動静
編輯余瀆

呼山 生
伊藤 生

第六十五号

三八ページ

口絵(動力設備)

都市手工教育の発展策

農村工芸の推广

造形的創造性の教育

藤原教授講演「教育学の根本問題」の要点

紙細工の研究

新著紹介

滋賀県の手工教育

個人の動静

編輯余瀆

岡山 秀吉

高橋 栄五郎

三荏 正雄

中西 延次

笠井 和助

田附 小林生

呼山 生

第六十六号

大正十四年十月十五日
四三ページ

電気に関する作品

豊橋市に於ける「社会への手工講習会員と其の作品」

建築に必要な木材の知識

写真版

写真版

白沢 保美

手工の創作教育雑感

社会への手工教育とその試み

農業地及び商業地に於ける手工科設置の必要

北海道の樹木

紙細工の研究(三)

石膏細工製作会の記

マルセイユより

会報

入会

会費領収

用具考案紹介

個人の動静

編輯余瀆

阿部七五三吉
細島昇一

横山 道蔵

吉田五左衛門

笠井 和助

阿部 孫作

青藤 金蔵

第六十七号

大正十五年一月一日
一五三ページ

岡山会長還暦記念寿影

岡山会長寿像製作の状況

岡山会長還暦記念号発刊の辞

御挨拶

岡山会長の略歴

岡山会長の著書

写真版

写真版

阿部七五三吉

岡山 秀吉

岡山 秀吉

他との著作

岡山秀吉君の少青年時代

岡山氏の手工修業並に氏と私

岡山君の千葉泉師範学校奉職時代の感想

私の見た岡山君

秋田市工業徒弟学校長としての岡山先生

岡山君の紐育に於ける学生生活

一市民としての岡山先生

勤勞の習慣

心からの感謝

岡山先生の健康法

交友四十年

岡山先生の還暦を祝す

恩師岡山先生の還暦を祝す

岡山先生と思出

早習院の手工と岡山先生

無題録

恩師岡山先生の還暦祝賀について

祝岡山先生の華甲

追懐五くじり

先生の御子息

岡山先生訪問感

南窓に向ひて

敬慕せる岡山先生

寺島 音次郎

杉田 稔

御園 生卯七

小池 民次

三平 円治

岡田 満

鈴木 魁

宇東 寿郎

水戸部 寅松

芦田 恵之助

森 利平

菊地 鑄太郎

栗原 源治

阿部 七五三吉

佐野 正造

柏原 伊之吉

長谷川 曾一

高橋 栄五郎

下川 兵次郎

板倉 賛治

佐藤 平太郎

米山 利助

熊谷 梅太郎

東京女高師附属小学 手工創始たる岡山先生と私
及び東京盲学校の

岡山会長還暦祝賀記念号の発刊に際して

恩師岡山先生の賀に寄せて

岡山先生の御還暦を祝ふ

豊臣秀吉に擬す

岡山先生と私

我が手工教育と岡山先生

農工科を設置して御還暦を祝ふ

私の見聞した岡山先生

岡山先生の教訓

岡山先生の還暦を祝し奉る

岡山先生に關する私記

想ひ出の一つ

岡山先生の御還暦を祝して

岡山先生の還暦を祝ひて

甲論乙駁

岡山先生の還暦を祝ひて

御祝にかねて

岡山先生の還暦祝賀に因みて

岡山先生の還暦を祝して

岡山先生

岡山先生と私の学校の手工科

岡山先生の還暦を御祝ひして

祝詞

藤五代 策

三橋 節

中田 俊造

古屋 正寿

河野 喜燕

小倉 陸蔵

大倉 狂次郎

平木 吉治郎

伊藤 信一郎

西館 琢輔

西 正一郎

細島 昇一

上甲 二郎

東本 貞治

鈴木 孝英

大和田 勝

若田 五左衛門

葦野 五朗

伊藤 永造

伊藤 幸太郎

服部 哲太郎

柴田 正治

勅使河原太左工門

久木田 休助

岡山先生より得たる教訓

岡山教授の還曆を祝す

御還曆を御祝ひ申し上げます

岡山先生の還曆を寿ぼく

岡山先生の御還曆祝賀

恩師岡山先生の還曆を祝して

私の思出

至誠典祖岡山先生

岡山先生を知るまで

祝詞

御祝ひに

祝岡山先生の還曆

感じた事

岡山先生の還曆を祝す

岡山先生の還曆を祝し奉る

岡山先生の御還曆を祝す

岡山先生が御還曆

御祝詞

手工科の思ひ出

記念号巻刊に就て

第一印象

祝辞

私の今日あるは
岡山先生還曆祝賀会の概況

山内 作太郎

鈴木 定次

三若 正雄

大崎 勝澄

中西 延次

橋本 祝二

杉山 甚一

日高 長平

阿部 孫作

富田 馨吾

西田 虎一

西村 兵蔵

千葉 全雄

田中 富吉

布川 三之丞

水上 武雄

永田 圭三

田村 耕

丸山 八太郎

小林 豊吉

渋谷 保

増田 棟吉

笠井 祐助

岡山先生寿儀製作の次第

個人の勤静

編輯余瀆

伊藤 信一郎

第六十八号

大正十五年一月三十一日

四四ページ

岡山先生六旬寿誕誌慶(写真版)

高等小學校改善上実業科目につき岡田文相

閣下に望む

忘れられたる手工教育の一面

現下の手工教授上改善を要する諸点

普通教育者の改善と徹底的体験

手工科とお話及び劇

歐洲諸国に於ける手工図画教育視察概要

新刊紹介

個人の勤静

編輯余瀆

手工研究会々員名簿

張 焯

岡山 秀吉

加藤 俊雄

渋谷 保

柳 新市

長尾 豊

齊藤 金造

第六十九号

大正十五年三月十五日

三九ページ

手工科成績品と動力設備

写真版

寒国と手工教育

幼児の構成的興味と思慮

童心手工の提唱

米国に於ける手工図画教育視察概要

手工科教授細目の必要とその編纂上の注意

我が校の動力設備に就て

農学校の手工教育

南国台湾の手工教育

第四十三回 大正十四年度 教員模範本試験手工科問題

入会

会費の領収

個人の動静

編輯余滴

第七十号

大正十五年四月十五日

三七ページ

手工科成績品

米国の小学教育及び小学校に於ける実業教育

尋常小学校に於ける手工科の理想的設備

地方経済より見たる手工科とこれに対する態度

銅及び真鍮の着色法

阿部七五三吉

西館 弥 輔

山下 俊 三

青藤 金 造

斎藤 忠 利

橋本 祝 二

水上 武 雄

久木田 休 助

写真版

文部省

野口 与 三 郎

杉 岡 順

岡 山 秀 吉

農村の工芸木材の加工法

手工科のお話と劇化

作品展覽会場に就ての雑感

各時代の美術工芸品に關係深き記号表研究

会報

入会

会費領収

個人の動静

編輯余滴

第七十一号

大正十五年五月三十日

四四ページ

愛知県女子師範学校手工科成績品

手工研究会定款

必修科 高等小学校の手工科に就いて

改正高等小学校令抄

瑞典旅行記の二節と其の手工教育

手工科と総合的な芸術教育

手工科学習訓練について

手工科に対する私見と姫路師範附屬研究の一端

手工科の実際

高橋 栄 五 郎

長尾 豊

水上 武 雄

四海 寿 郎

写真版

手工研究会設立者

岡 山 秀 吉

手工研究会

斎藤 金 造

長尾 豊

野崎 芳 五 朗

中西 延 次

杉 岡 順

手工一家言

会報

第二回総会の概況

入会

会費領収

社団法人 手工研究会決算報告

社団法人 手工研究会収支予算

個人の勤静

編輯余滴

手塚 又四郎

第七十二号

大正十五年六月三十日

三九 ページ

おかめの面 (写真真版)

高等小學校の手工科と工業科

瑞典旅行記の一節と其手工教育 (三)

手工科の製図につきて

芸道としての手工教育

手工科の社会的価値及び教授上其の価値を發揮する上の注意

女子学習院の手工

口絵おかめ面

文部省夏期手工講習会

池田 一光

岡山 秀吉

齊藤 金造

阿部 七三吉

大崎 勝澄

永田 簡治

上甲 二郎

見山 生

東京市の長期手工講習会

第四十四回手工科予備試験問題

第四十四回手工科予備試験合格者

手工科本試験日割

会報

新入会者

会費領収

個人の勤静

編輯余滴

第七十三号

大正十五年七月三十日

四二 ページ

口絵 (成績品と動力設備)

改正高等小學校令の工業科について

瑞典旅行記の一節と其の手工教育 (三)

新に出る手工テープに対する教育的批判

改米人に歓迎せられる竹製玩具

横浜中に於ける手工教育の施設

動力設備の成る迄

釉焼に就て

童心手工の實際

初夏手工教室小感

金沢市の手工加設概況

写真真版

阿部 七三吉

齊藤 金造

佐藤 平太郎

藤 五代策

東本貞治

吉屋 盛壽

長谷川 曾一

山下 俊三

手塚 又四郎

記 者

大正十五年
度手工科本試験問題

会報

入会者

会費領収

個人の勲静

編輯余滴

第七十四号

大正十五年八月三十日

四一ページ

写真版

文部省主催手工講習会講師及会員

新令に依る高等小学校の手工科及び工業科の教材
配当

改正高等小学校令の工業科について(下)

小学校本科正教員の検定に手工科の必設を
望む

回業教授の徹底と手工

糸鋸機の使用に就て

各時代の美術工芸品に關係深き記号表裏
研究(三)

手工科愚言

大正十五年
文部省主催手工講習会概況

岡山 香吉
阿部七五三吉

伊藤信一郎

武井勝雄

松平義人

四海寿郎

染川清一郎

芳賀鶴松

手工科本試験合格者

会報

懇親会の状況

新入会者

会費領収

個人の勲静

編輯余滴

第七十五号

大正十五年九月三十日

三九ページ

製作品と設備

米國教育の實業的發展

独逸漢堡の手工教育及び補習教育

手工科学習訓練について(三)

動力設備の苦む

木象嵌についての知識

共鳴の一つ二つ

手工科用畧画問題の解説

岐阜県師範学校手工科講習会概況

会報

入会者

会費の領収

写真版

文部省

齊藤金造

野崎芳五胡

山本菊三

西田虎一

足立広重

杉山甚一

柘植 茂

会員の動静
編輯余滴

第七十六号

大正十五年十月三十日

四三ページ

設備と実習の情况

写真版

健康なる手工教育の振興を圖れ

石谷辰治郎

鍛工の要訣(三)

岡山秀吉

独逸漢堡の手工教育及び職業教育(三)

齋藤金造

改正令高等小学校の手工科課程案
に依る

後藤祝二

富山県主催工業講習会情况

丁巳生

新嘉坡より

大倉 征次郎

入会者

会費領収

会員の動静

編輯余滴

第七十七号

大正十五年十月三十日

四十一ページ

成績品に動力設備

写真版

手工科及び工業科の指導・監督・研究の完備
を望む

伊藤信一郎

速かに我が日本国としての手工教育を完成
せよ

齋藤金造

鍛工の要訣(四)

岡山秀吉

工業に関する思ひつき

齋藤善治

改正令に依る工業科・手工科実施案

阿部孫作

札幌より

草野五朗

会報

入会者

会費領収

個人の動静

編輯余滴

第七十八号

昭和元年十二月廿八日

四二。ページ

手工科成績品と実習の情况

写真版

記念すべき大正十五年

阿部七五三君

副業としての地方的工業の奨励

水上武雄

会報

入会者

会員の領収

会員の動静

編輯余瀆

社団法人 手工研究会 會員 石澤

第七十九号

昭和二年一月廿八日

四ニページ

東京市主催手工講習会講師及び會員

写真版

今後の手工教育

松逸漢堡の手工教育及び補習教育ニ

斎藤金造

手工科用器画試験問題解ニ

杉山甚一

大正十五年
東京市主催手工講習会概況

全国学校科字教育展覽会

会報

入会者

会費領収

會員の動靜

編輯余瀆

第八十号

昭和二年三月廿八日

四ニページ

手工科成績品及び設備

写真版

手工科教授の三模式的方法

小学校 勞作教育の建設一
に於ける

手工教室と其の備品

金沢市に於ける手工科の情況一

長崎県師範学校手工教室より

会報

入会者

会費領収

會員の動靜

編輯余瀆

第八十一号

昭和二年三月廿八日

四ニページ

平和のお使と英國兒童製作品

児童中心の教育から社会生活への教育

小学校 勞作教育の建設ニ
に於ける

農村手桑條工作の試み

工教材

過去一年間の経験

金沢市に於ける手工科の情況ニ

徳島県に於ける手工教育概観

埼玉県熊谷専治手工科講習会概要
会報

岡山 秀吉 記

川端 常五郎

伊藤 信一郎

多幡 真澄

小瀬 悦治

写真版

阿部 七五三 吉

川端 常五郎

染川 清一郎

中井 義雄

多幡 真澄

山本 角五郎

片 下 生

入会者

会費領収

会員の動静

編輯余滴

第八十二号

昭和三年五月八日

四のページ

成績品と実修の情况

新手工教科書の発刊に就て

小学校に於ける劳作教育の建設(三)

農村に於ける手工教材の選取に就て

フランク・ビエルト氏のウオスターデザインの研究

花岡相伝

手工教授研究大会の記

福井県主催手工科講習会概況

新刊紹介

会報

入会者

会費の領収

会員の動静

編輯余滴

第八十三号

昭和二年五月八日

四のページ

成績と実修の情况

高等小学校の手工科教授者に望む

児童の生活に於ける手工料の学習

厚紙線細工の提唱

雨天体操場を利用したる手工教授

廢器を利用したる細工机

小学校に於ける動力設備に就て

函館市に於ける工業科の情况

苦心一年

新刊紹介

会報

入会者

会費領収

手工研究会大正十五年度会計決算報告

手工研究会昭和二年度会計予算案

会員の動静

編輯余滴

第八十四号

昭和二年六月八日

四三のページ

成績品と実修の情况

写真版

写真版

阿部七五三君

柴川清一郎

西館弥輔

斎藤安之助

曾根藤藏

田中勝千代

工藤惣之助

田丸愛吉

構作原理の一斑

伯林市に於ける手工教育の概況

高等小学改正令に対する当面の問題

木工機械に就て

木製玩具に就て

矯正教育に於ける木工教授に就て

第四十六回手工科予備試験問題

第四十六回手工科検定試験に就て

第三回総会の概況

新刊紹介

会報

入会者

会費の領収

会員の動静

編輯余滴

第八十五号

昭和二年八月八日

四二ページ

手工研究会主催第一回手工講習会講師及講習会員

手工科教授要目及標準設備

手工教材の研究

各時代の美術工芸品に關係深き記号表表原

究三

岡山 秀吉
齊藤 金造

山内 作太郎
川口 昌雄

水上 武雄
千葉 憲雄

写真版

文部省普通学務局調査
伊藤 賢一

血海 寿郎

焼印の作り方
真頼抄撮

手工研究会主催第一回手工講習会概況

第四十六回^{師範学校 中学校}校高等女学校教員検定手工科

本試験問題

第四十六回教員検定手工科本試験合格者

会報

入会者

会費領収

会員の動静

編輯余滴

第八十六号

昭和二年九月八日

四二ページ

文部省主催手工講習会講師及講習会員

児童本位の手工教授

再び手工科文検受験者のために

昭和二年手工科受験記

竹に就て

鉋研磨機について

文部省
主催手工科講習会概況

会員の動静

矢島 雅夫
平塚 又四郎
諸井 仁平

写真版

小林 豊吉

伊藤 信一郎

行友 伴輔

水上 武雄

久保 豊治郎

西館 弥輔

編輯余滴

第八十七号

昭和三年十月八日

四三ページ

手工科製作品と教室

写真版

手工教育の根本的改善ニ師範学校手工科規程の改正を要す

岡山 秀吉

青森プランの様式

西館 弥輔

農村の手工教育を論ず

染川 清一郎

表具之伝

末宗 六

徳島県に於ける手工教育の諸事業

山本角五郎

会報

新入会者

会費領収

会員の動静

編輯余滴

第八十八号

昭和三年十月八日

四〇ページ

手工科製作品と其の実験の情况

写真版

木彫の実技練習要領

岡山 秀吉

遊戯化した手工教授

長尾 豊

應用利用ケース細工

中央手工教室制室施設経過に就て(二)

漫語

三重県下小学校教員製作品展覽會

会報

入会者

会費の領収

会員の動静

編輯余滴

第八十九号

昭和三年十月八日

四二ページ

書院隣子と書院書院床廻り

工学者の見たる手工教育

英国倫敦市に於ける手工教育概況

住家雜考(二)

具細工に就て

本会前評議員森利平君逝く

新刊紹介

会報

入会者

会費領収

会員の動静

編輯余滴

枝仁 知一

足立 重彦

小倉 隆藏

写真版

松本 岩太郎

斎藤 金造

岡山 寛太郎

阿部 孫作

岡山 会長

第九十号

昭和三年十月八日
四七ページ

製作と動力設備

汗への教育

住家雑考(三)

秋田県の手工教育

東京高等師範学校 回画手工専修科生徒募集

会報

入会者

会費の領収

会員の勤静

編輯余滴

社内 手工研究会会員の指導

写真版

小沢伴哉

岡山 寛太郎

出町 寛一郎

東京高等師範学校 回画手工専修科規則及生徒募集

会報

入会者

会費領収

会員の勤静

編輯余滴

第九十二号

昭和三年二月十五日
四五ページ

手工科成績品

教育の画一打破とは如何なることか

地方に於ける手工科の進路

手工科の用具及器械

コンクリートに就て

埼玉果初等教育研究会に於ける手工科

新築館の紹介

会報

入会者

会費の領収

会員の勤静

編輯余滴

写真版

阿部七三三

出原 驍

伊藤 信一郎

矢島 雅夫

茨谷 保

OH 生

第九十一号

昭和三年一月八日
四七ページ

製作品と設備

木工用刃物研磨の研究(二)

仙蘭西に於ける手工教育の瞥見

児童生徒の個性尊重 訓令及通牒要旨略説

職業指導等に関する 訓令及通牒要旨略説

中央手工教室制実施経過に就て(三)

長崎県師範学校 手工科展覧部の概況

写真版

岡山 秀吉

香藤 金造

文部省普通学務局

足立 重廣

小瀬 悦治

第九十三号

昭和三年三月十五日

四四ページ

手工科の成績品と工業科実修の情況

写真版

小學校に於ける手工教材の選取及排列の實際

伊藤信一郎

米國都市の手工教育

齊藤金造

再び青森プランに就て

西館 琢 輔

糊に就て

山下 俊 三

会報

入会者

会費の領収

会員の動靜

編輯余滴

第九十四号

昭和三年四月十五日

四六ページ

手工科の成績品と実修の情況

写真版

神奈川県に於ける手工科教授の情況

文部省普通学務局

手工科指導法の考察

柴川 清一郎

農村と手工教育

高橋千代三郎

快造船諏訪丸の由来と製作の感想

岡山 秀 吉

塗工法的一般

小瀬 悦 治

竹材の化学成分に就て

水上 武 夫

日本陶磁器の産地及其の特色

齊藤 吉 郎

閉録録

長崎県師範学校塗仕上講習会の記

徳島県下に於ける手工教育管見

回函手工専修科卒業生及入学者

会報

入会者

会費の領収

会員の動靜

編輯余滴

第九十五号

昭和三年五月十五日

四五ページ

手工科の成績品と木工実修の情況

教育制度の欠陥

職業教育上より見た普通教育の改造

米國都市の手工教育

竹工の研究

手工一家言

愚感

会報

手工研究会昭和二年度会計決算報告

手工研究会昭和三年度会計予算案

入会者

会費の領収

佐藤 幸 信

下 〇 生

伊藤 信 一 郎

会員の勲静
編輯余滴

第九十六号

昭和三年六月十五日

四三ページ

手工科の製作品及び木工実修の情況
職業教育上より見た普通教育の改造(二)
教育の職業的方面

写真版
阿部七五三吉

大崎勝澄

手工科予備試験問題(昭和三年度)

手工科の予備試験と其の合格者

手工研究会第三回総会の概況

会報

入会者

会費の領収

会員の勲静

編輯余滴

第九十七号

昭和三年七月十五日

五七ページ

手工科の成績品
手工の創造性

写真版

稲毛詛風

地下児童俱樂部室の建築

我が校に於ける手工教育の方針

文化村の製作

本校に於ける工業科設備の大略

遺拾三篇

川口町錫物業の概要

昭和三年度手工科文檢本試験問題

新刊紹介

会報

入会者

会費の領収

会員の勲静

編輯余滴

第九十八号

昭和三年八月二十五日

五九ページ

文部省主催手工講習会講師及会員

師範学校制度の改正に對して希望を述べ

併せて師範学校長会の提案に係る「師範学校学科課程改善案」を評す

手工科指導法の種々相

高等小學校に於ける職業指導に就て

手工科の本試験と合格者

岡山 秀吉

堀内 一雄

坂本 教治

三橋 節

水上 武雄

理科研究部

写真版

岡山 秀吉

八岐 義山

下川 兵次郎

昭和三年度文棟手工科受験記
文部省主催手工科講習会概況
会報

高橋千代三郎
西田 工 作

入会者

会費の領収

会員の勤静

編輯余瀟

第九十九号

昭和三年十月八日

四七 ページ

手工科研究会主催第二回講習会講師及会員

思想の善導と手工教育

高等小学校に於ける職業指導に就て(下)

歩みし道を顧みて

私の手工科受験

手工科受験の跡を辿って

手工研究会主催第二回夏季講習会概況

北海道手工教育研究会

会報

会告

入会者

会費の領収

会員の勤静

編輯余瀟

第百号

昭和三年十二月十九日

一〇〇 ページ

手工科の成績品と設備

御大典を祝し第百号の発刊に当りて祈感を述ぶ

教育の生産化と其の必要

手工科に対する私の考

手工科及工業科に対する卑見

高学年女児の手工科教授に就て

低学年手工科習の正常なる歩み

手工教材の地方化と其の考察

手工教育雜感

手工設備の實際的方針

小学校に於ける手工に就て

着色仕上について

低学年手工科学習唱歌

篆刻に就て

中央展覧会手工科概観(上)

昭和三年度手工科予備試験問題

会報

入会者

会費の領収

写真版

岡山 秀吉
足立 重廣
小林 豊吉
吉村 末吉
後藤 祝二
川端 常五郎
出原 曉
田丸 愛吉
多田 子之助
伊藤 信一郎
西田 虎一
救仁 御和
佐藤 幸信
孫 心 生

会員の動静
編輯余滴

第百一号

昭和三年十一月十九日

五〇ページ

手工科の成績品及設備

全国児童手工成績品審査所感

中央展覧会手工科概観(中)

新刊紹介

会報

入会者

会費の領収

会員の動静

編輯余滴

社団法人 手工研究会 会員名簿 昭和三年十月三十日現在

写真版

岡山 秀吉

糸心 生

祖国の手工教育を想ふ
曲尺の目盛について

手工教育と糸鋸機

中央展覧会手工科概観(下)

秋田県手工教育研究会概況

手工・工業協議会の南進

岡山先生の表彰を祝す

会報

入会者

除名

会費の領収

会員の動静

編輯余滴

鈴木 定次

高橋 良助

山下 宇一

糸心 生

高橋 千代三郎

S I 生

第百三号

昭和四年二月十九日

四九ページ

手工科の製作品と設備

教育の實際化に於いて

教科課程に於ける遊戯と作業

文化刺繍の研究

手工の用具選択

糸鋸機概説

写真版

大島 正徳

大崎 勝澄

阿部 七五三老

小野 義吉

出原 驍

第百二号

昭和四年一月十九日

五〇ページ

写真版

成績品と実修の情况

昨年の手工教育界を顧みて 会員諸君に望む 阿部七五三老
我が校に於ける手工科及工業科の教授方針 吉村末吉

昭和三年度文様手工科問題
鹿児島県手工教育の近況

日高 長平

第百五号

昭和四年四月一日

四八 ページ

入会者
会費の領収
個人の勤静
編輯余滴

手工科の設備と成績品
本誌編輯の既往を懐ひ其の将来に望む
農村の工芸問題
農村手工教材としての高細工
モザイクに就て
我が校に於ける工業教育
千葉県手工研究会の設置

写真版
伊藤 信一郎
染川 清一郎
小瀬 悦治
川口 昌雄
田中 美男
長島 正平

第百四号

昭和四年三月十五日

六七 ページ

手工科及工業科の設備
手工と工業との関係と述べ工業教育の精神
に及ぶ

岡山 秀吉

写真版

会費領収
会員の勤静

第百六号

昭和四年五月一日

四八 ページ

高等小学校の工業科は職業教育の教科ではない
於ける 手工並に工業の労作教育的真主張
職業指導と工業科
工業科経営に於ける私の目標
工業科の教材に就て(上)

阿部 七五三吉
川端 常五郎
橋井 和助
田丸 愛吉
後藤 祝二

手工科の成績品と実習情況
一般陶冶と職業陶冶の融合及び其の徹底(一)
手工の本体と其の作用
高等小学校改善に關する意見並に高等小学校
工業科の経営實際(其の一)

写真版
文部省普通学務司
阿部 七五三吉

我が校に於ける工業科の経営
本校の工業科動力設備に就て
編輯余滴

東本 貞治
林 佐一
山下 泰助
佐々木 信一

手工科文様多験者諸氏のために
科学的陶冶と芸術的陶冶と手工科

香吉 三郎
小野 茂吉
淡岩 保

謄写版印刷について

尋回手工科自由製作教材取扱の一例

手工科と他教科との連続に就て

会報

会費領収

入会者

会員の動靜

第百七号

昭和四年六月一日

五 一 ページ

写真版

手工科の成績品と動力設備

一般陶冶と職業陶冶の融合及び其の徹底

文部省普通学務局

教授方法(字羽指導)の新研究上

受難の国民教育と其方向

高等小学校改善に關する意見並に高等小学

工業科の歴史と現在

入学考査に手工科を課したる概要上

工業科の教材に就て中

針細工の研究

金工教室と其の設備に就て

平田 幸市

青藤 忠利

岩越 勘一

第百八号

昭和四年七月一日

四 七 ページ

写真版

手工成績品

退官の御挨拶

一般陶冶と職業陶冶の融合並に其の徹底

(其三)

最近の学生と手工教育

入学考査に手工科を課したる概要下

当校に於ける手工科教授の概要

小刀鍛の工程

膠の製法及び応用調製の持合法に就て

昭和四年度文換手工科予備試験問題

手工科予備試験合格者

雑報

新刊紹介

手工研究会第四回總會概況

会報

手工研究会昭和三年度決算報告

手工研究会昭和四年度予算案

新入会者

会費領収

会員の動靜

田山 秀吉

手塚 又四郎

平松 秀三

若松 常祐

小沢 金造

文部省普通学務局

松島高等 附属中学校

師範学校

若松 常祐

小沢 金造

第百九号

昭和四年八月一日

四七ページ

成績占と実習情况

高等小学校の実業科目加設の方法を論ず

作業者としての手工教授

中学教育改善施策案の内容

労働及び閑暇上

高等小学校校政正に關する意見並に高等小學校工業科の經營實際案(其三)

皮革細工に就きて(其一)

抽斗の錠前に就いて

会報

八会者

会費領収

会員の動靜

写真版

阿部七五三君

北田 種一

文政審議会の會中

大崎勝澄

香左 三郎

松平義人

小沢金造

後藤 祝二

第百十号

昭和四年九月一日

四七ページ

日本手工研究会主催第三回講習会々員

手工・工業協議会に現はれた諸問題

作業及農業科施設要領

労働及び閑暇

皮革細工に就きて(其三)

兵庫県立明石中學校

大崎勝澄

松平義人

伊藤信一郎

写真版

会費領収

会員の動靜

編輯余滴

新入会者

会費領収

会員の動靜

編輯余滴

新入会者

会費領収

会員の動靜

編輯余滴

第百十一号

昭和四年十月一日

五一ページ

文部省主催中學校作業科講習会員

教授方法(學習指導)の新研究 下

空間認識の発達に伴ふ製図教授私見

昭和文様手工科本試験の感想

工業科の教材に就て(下ノ一)

文部省主催中學校作業科講習会状況

千葉県主催手工科講習会概況

雑報

会報

新入会者

会費領収

会員の動靜

編輯余滴

写真版

岡山 秀吉

柴川 清一郎

小野 義吉

後藤 祝二

山内 作太郎

長島 正平

第百十二号

昭和四年十一月一日

五三 ページ

手工科講習会々員と飛行機模型飛翔会

写真版

玩具についての一考察

阿部七五三君

職業指導と手工科及工業科

三橋 節

プロゼクト法に依る手工科教授 (上)

高橋千代三郎

テニールブ実業補習学校参観記

鈴木 定次

工業科の教材に就て (下ノ三)

後藤 祝二

白樺と其の工作

山下 泰助

船匠

木村 憲

第三回夏季講習会概況

手工実動協会

会報

入会者

会費領収

会員の動静

第百十三号

昭和四年十二月一日

四四 ページ

手工成績品

写真版

手工工業教育界に於ける本年の業績

伊藤信一郎

プロゼクト法に依る手工科教授 (下)

高橋千代三郎

文接手工科参観記

諸井 仁平

工業科の教材に就て (下ノ三)

教育的で実用的なナフテン染

青森県手工科講習会の記

協会主催

会報

入会者

会費領収

会員の動静

編輯余瀟

第百十四号

昭和五年一月一日

四八 ページ

手工成績品

写真版

年頭に際し手工教育の改善を要望す

岡山 秀吉

昭和四年夏季講習会概況

雨谷 厚

手工実動協会の活動方針

谷間 勇

活動写真機製作法の概要

小野 義吉

奉安殿模型製作の感想

北岡 繁

七一又好野字村参観記

鈴木 定次

手工成績品

伊藤 吾吉

刺繍教材の解説

下瀬 貞和

会報

入会者

後藤 祝二
富田 輝夫
小島 義三郎

会費領収
会員の勤静

第百十五号

昭和五年二月一日

四八ページ

手工科の作業情況と文検問題製作

写真版

勤労教育と手工教育

阿部七五三吉

文部省諮問案及答申

中等教育図書手工協議会答申

文検手工科受験記

山口敬明

刺繍教材の解説(其二)

下瀬貞和

竹工教材に就て(上)

染川清一郎

焼絵図案法(其二)

内田高

卵殻モザイクに就て

矢崎好幸

コンクリート植木鉢の作方に就て

篠原益夫

鋸屑の研究

田丸愛吉

会報

入会者

会費領収

会員の勤静

第百十六号

昭和五年三月一日

四八ページ

茨城師範学校舎と青森手工協会刀初會員

写真版

実業教育の尊重と改善

伊藤信一郎

自由選題と課題主義との長短如何

阿部七五三吉

刺繍教材の解説(其三)

下瀬貞和

卵殻モザイクに就て(下)

矢崎好幸

竹工教材に就て(下)

染川清一郎

焼絵図案法(其三)

内田高

小さい試み

木村憲二

手工作品を材料としての商業実習の概要

岩越勘一

楽焼雑談

長谷川曾一

会報

入会者

会費領収

会員の勤静

第百十七号

昭和五年四月一日

六一ページ

厚紙建築

写真版

欧米に於ける新教育の代表的研究所と手工

岡山秀吉

教育

手塚又四郎

Tendenzに就いて

新作鞍馬土産
枝細工

簡易木工三題

手工藝的範圍の奈良物産に就て

副業問題と手工科

神奈川県地方に於ける御土産具

写真挿画を通じて

独逸手工教育の概況

和歌山県手工研究会創立に迄

雑報

会報

入会者

会費領収

会員除名

会員の動静

第百十八号

昭和五年五月一日

四七 ページ

手工製作品と成績函
技能教科の実習作業としての過程
各教科教授の職業指導化について
枝細工 其二

写真版
阿部七五三吉
下川兵次郎
西館 琢 輔

加藤 俊 雄
西館 琢 輔
高橋 良 助
淀立 重 広
渋谷 保
中山 耕 一郎
矢間 愛 雅
鈴木 定 次
中井 義 雄

第百十九号

昭和五年六月一日

四九 ページ

手工科成績函
理科教育と手工教育との相関々係に就て
板金工実習三題
工業学校の入学試験に手工科を加ふ
変圧器の設計と工作法(一)
竹印彫刻の提唱
刺繍教材の解説(其五)
屏風の裱具

写真版
坂本 孝
岡山 秀 吉
平松 秀 三
大和 喜 栄
吉田 寛 一
下瀬 貞 和
石黒 嵩

焼絵図案法(其三)
我校に於ける教育の生産化案本
刺繍教材の解説(其四)
広島県手工展覧会並に研究大会状況
鹿児島県教育研究会(手工科)状況
雑報
会報
第四回手工科講習会
入会者
会費領収
会員動静

内田 高
今福 猛之介
下瀬 貞 和
行友 伴 輔
日高 長 平

児童成績品の概要

青森手工協会々則

手工科予備試験問題(昭和五年度)

雑報

会報

日本手工研究会第五回総会の概況

入会者

会費領収

会員の動静

篠原益夫

第百二十号

昭和五年七月一日

四九ページ

写真版

手工科成績品

最近改米の教育を見て我國の手工工業につき所感を述べ

教授細目を一新したい

謄写版の活用法(一)

刺繍教材の解説(其二)

農村手工野菜物加工

簡易なる金工に就きて

雑報

会報

入会者

日田 権一

足立 重広

平田 幸市

下瀬 貞和

梁川 清一郎

松平 義人

会費領収

第五十二回手工科文検予備試験合格者

会員動静

第百二十一号

昭和五年八月一日

五一ページ

手工科成績品

中学校作業科教授要目

国産の振興と手工工業教育上

セルバを試て

手工科に於ける彩装につきて(上)

変圧器の設計と工法(一)

秋田県針籠学校 新築落成記念 手工展覧会概況

尋回手工の一時閑

雑報

手工科文検本試験問題

会報

質疑応答欄

入会者

会費領収

会員動静

写真版

岡山 秀吉

伊藤 信一郎

芳賀 鶴松

山内 作太郎

大和 喜栄

高橋 千代三郎

茨谷 保

第百二十三号

昭和五年九月一日

四七ページ

手工科成績品

国産の振興と手工工業教育下

国家の現状に鑑み手工科教育の大任を論ず

接合剤の研究

謄写版の活用法(三)

手工科に於ける彩装について(下)

電機器具 蓄電池の製作(三)

玉鋼の鋸製作を見て

我校に於ける女子手工教育

文部省主催実業科、作業科講習会概況

雑報

手工科本試験合格者

会報

入会者

会費領収

会員動静

写真版

伊藤 信二郎

小西 美良

堀 孝雄

平田 幸一

山内 作太郎

大和 喜深

荒井 保雄

松本 正義

出町 寛一郎

第百二十三号

昭和五年十月一日

五〇ページ

実業科及作業科講習会々員

写真版

勤労教育の時期

職業指導の根本的考察

造形への出発

謄写版の活用法(三)

刺繍教材の解説(其七)

手工科又検査験所感

手工科受験記

第四回手工講習会概況

雑報

新刊紹介

会報

入会者

会費領収

会員動静

第百二十四号

昭和五年十一月一日

四七ページ

文部省主催手工科講習会々員

女子手工藝教育の刷新について

手工科教授要綱(一)

手工科に於ける工具の指導

謄写版の活用法(四)

阿部 七五三吉

下川 兵次郎

平塚 又四郎

平田 幸市

下瀬 貞和

川原 熊五郎

大沢 四郎

肥沼 季平

写真版

岡山 秀吉

木村 寛二

山下 泰助

平田 幸市

組立式野外暗箱の作り方大要(一)

電機第4号電池の製法(二)
作講話...

文様手工科多岐実記

新刊紹介

雑報

会報

入会者

会費領収

会員動静

編輯余瀟

第百二十五号

昭和五年十一月一日

四〇ページ

成蹊高等学校の作業状況

普通教育に於ける工業科目と手工教員

新教材コンクリート工上

我が成蹊高等学校園の作業に就て

造形への出発(前承)

手工科教授要綱(二)

刺繍教材の解説(其ノ八)

雑報

会報

入会者

長江 義

大和 喜栄

岩越 勘一

会費領収

会員動静

第百二十六号

昭和六年一月一日

四八ページ

手工成蹊品及実習状況

職業指導と勤労教育とは家庭から普通教育に移った

新教材コンクリート工下

文化と芸術と実用と

明石中学校に於ける実業作業科に就て

組立式野外暗箱の作り方大要(二)

セルロイド工業と其細工

雑報

会報

入会者

会費領収

会員動静

園画手工専修科生徒募集

写真版

阿部七五三

伊藤信一郎

大島雅男

西村正男

長江 義

山田 俊一

第百二十七号

昭和六年二月一日

四八ページ

手工科成績品

中学校作業科の設備と其費用

コンクリート工の実際上

手工用新塗料三種

彫型に關する研究

電機製...電熱器の設計と製作
作講話

野外用組立暗箱製作の大事(三)

刺繍教材の解説(其の九)

手工教材としての鏡の製作

新考草木品紹介

会報

入会者

会費領収

会員助静

写真版

岡山 秀吉

伊藤 信一郎

加藤 俊雄

鈴木 定次

大和 喜栄

長江 義

下瀬 貞和

田浦 英雄

電氣製...ラジオ用蓄電池と充電器の設計
作講話

手工目測法概念の一般に就いて

製紙工場とセルロイド工場

セルロイド加工法

鉛の研究

新刊紹介

雑報

会報

理事會

入会者

会費領収

会員助静

大和 喜栄

大柴 徳治

有川 武夫

北風 伊三郎

吉村 末吉

第百二十八号

昭和六年三月一日

五〇ページ

手工科成績品

中学校令施行規則の改正と作業科及工業の

教授要目

写真版

伊藤 信一郎

第百二十九号

昭和六年四月一日

四八ページ

文藝同心会・手工教室

医師と手工教育

師範学校規程の改正と手工・工業教授要目

簡単に出来るスキー製法(一)

火のついた手工業科への私見

材料費を節約する工業科実習方法

写真版

阿部 七三三

伊藤 信一郎

出町 寛一郎

村上 四郎

田中 美男

四才転について(一)

手工漫言

雑報

特別広告

新刊紹介

会報

入会者

会費領収

会員動静

清田義雄
花房義雄

第百三十号

昭和六年五月一日

四九ページ

明石中学校作業科実習情况

科学博物館の出現

逓官の御挨拶

師範学校規程の改正と手工工業教授要目(F)

刺繍教材の解説(H)

手工科補充教材試作の記

四方転について(三)

電機製
作講話 一 振動充電器と電解充電器

竹皮細工の紹介

新刊紹介

雑報

写真版

秋保 安治

梅村 久磨作

伊藤 信一郎

下瀬 貞和

木村 連

清田 義雄

大和 喜栄

田丸 愛吉

特別広告

会報

昭和五年度会計決算報告

昭和六年度会計予算案

入会者

会費領収

会員動静

第百三十一号

昭和六年六月一日

四九ページ

手工科成績函

工具機械の歴史的研究(二)

作業・労作の教育的価値

教育上に於ける訓練の機会と手工科(H)

師範学校に於ける工業科実習教授方法及設備案

電機製
作講話 二 電話機の製作

思ひつくまへに(H)

手工科予備試験問題(昭和六年)

新刊紹介

雑報

東陶会会報について感想

会報

写真版

岡山 秀吉

染川 清一郎

高橋千代三郎

秋保 安治

大和 喜栄

杉山 甚一

長谷川 曾一

日本手工研究会第六回総会の概況

入会者

会費領収

会員動静

第百三十二号

昭和六年七月一日

四七ページ

手工科成績書

手工科作業科工業科の異同について

手芸の由来

木工図案三種

教育上に於ける訓練の機会と手工科(一)

思ひつくまゝに(二)

昭和 手工科文様予試第三問擬答案

研究と創作(一)

雑報

文部省主催の作業科講習会

伊藤幸太郎君の名譽

昭和 六年 手科文様予試合格者

特別広告

会報

日本手工研究会当選役員左の如し

写真版

阿部七五三吉

出口 佐市

山形 寛

高橋千代三郎

杉山 甚一

清田 義雄

高橋 良助

本会主催手工科講習会所要工具

入会者

会費領収

会員動静

第百三十三号

昭和六年八月一日

四七ページ

作業の状況

改米に於ける手工教育の現状について

造花の研究 其の一

竹細工の研究

思ひつくまゝにII

教育上に於ける訓練の機会と手工科(二)

手工材料の性質と用法

修理奉仕

関東州手工教育の状況に就いての報告

雑報

特別広告

会報

新入会者

会費領収

会員の動静

写真版

宇東寿郎

下瀬貞和

早川義貫

杉山 甚一

高橋千代三郎

大木 孫次

田丸 愛吉

鈴木 定次

第百三十四号

昭和六年九月一日

四八 ページ

写真版

欧米に於ける手工教育の現状について

安東寿郎

輸出向きの竹製玩具に就て

藤五代衆

此機を逸する勿れ

山田義郎

造花の研究(其の二)

下瀬貞和

思ひつくまゝにⅡ

杉山甚一

工業科の助手について

田中善男

第五回手工講習会状況

肥沼季平

雑報

会報

入会者

会費領収

会員の動静

編輯余滴

第百三十五号

昭和六年十月一日

四八 ページ

ネース師範学校手工講習会員

写真版

作業科の実施と其の趨勢

伊藤信一郎

銀行建築について其の一

加藤 泰

お面作りの秘伝

思ひつくまゝにⅢ

造花の研究(其の三)

相貫体の考へ方

第五十四回文様手工科合格記

第五回夏季講習会概況

新刊紹介

雑報

会報

入会者

会費領収

会員動静

第百三十六号

昭和六年十月一日

五〇 ページ

文様成績表及作業状況

手工教育の郷土化について

小学校手工科に於て動力機械を設備するの可否考察

粘土性質の研究

作業服に就て

小学校に於ける勤労教材

文様手工科受験記

山田義郎

杉山甚一

下瀬貞和

大和 堯栄

北風 伊三郎

手工教育実動協会

雑報

会報

入会者

会費領収

会員動静

写真版

岡山 秀吉

佐藤平太郎

西田 虎一

平田 幸市

田中 善男

神尾 一実

夏季木工作业

雑報

会報

入会者

会費領収

会員動静

第百三十七号

展覧会即売会状況及作業状況

昭和六年の回顧

新彫刻材料白桐石に就て

工芸の本質と手工科

職業指導の考察

思ひつくまゝに(五)

創作と研究

手工科
工業科
実習製作品の展覧会及び即売会の概略

雑報

会報

入会者

会費領収

会員動静

吉田清三

第百三十八号

昭和七年一月一日

四八ページ

東京文理科大学新館普通木工室実習の情况

發明創作と手工教育

針金板金大さ規格について

小学校手工科に於て動力機械を設備するの
可否考察(続き)

技能科教授より見たる模倣と創作

メタリコン塗の色々

思ひつくまゝに(六)

手工教育の郷土化に就いて

本校理科手工特別教育の概況

工作科実施について

雑報

会報

入会者

会費領収

会員動静

写真版

伊藤 瑚堂

加藤 泰

佐藤 平太郎

今福 猛之介

加藤 俊雄

杉山 甚一

渋谷 保

斎藤 宇助

山下 巖

第百三十九号

昭和七年二月一日

四九ページ

東京文理科大学及手工教室

工具機械の歴史的研究(三)

写真版

岡山 秀吉

天平芸術に現はれたる我が国民性
創作と研究(続き)

鋼の熱処理について
思ひつくまゝに

竹を材料として

手工科教授細目とその改正に就て

雑報

会報

入会者

会費領収

会員動静

大崎 勝澄

高橋 良助

西川 一三

杉山 甚一

田丸 愛吉

坂庭 三郎

会報

入会者

会費領収

会員動静

第百四十一号

昭和七年四月一日

四五 ページ

瑞典ネース手工師範学校長及全景と手工教材 写真版

工具機械の歴史研究(四)

天平芸術に現はれたる我が国民性(前号続)

ネースの手工学校を尋ねて

手工教育の一考察(三)

福岡県^{手工}工業教育近況

文様粘土細工の要領

廢物利用ホルル紙組立建築の説明

動力設備完成への苦心

雑報

会費領収

入会者

岡山 秀吉

大崎 勝澄

中田 俊造

笠井 和助

古庄 盛寿

大和 喜栄

下川 兵次郎

天間 愛雅

第百四十号

昭和七年三月一日

五〇 ページ

製作品と展覧会状況

天平芸術に現はれたる我が国民性(前号続)

工具機械の歴史的研究(三)

手工^{工業}作業「セメファルト」の使用法の研究

女性の創造力陶冶と手工科教授改造論

刃物に就て

山口県の郷土工業

手工教育の一考察

文換手工科の考察(二)

写真版

大崎 勝澄

岡山 秀吉

阿部 七五三吉

小西 美良

熊谷 梅太郎

笠原 山翠

笠井 和助

北風 伊三郎

第百四十二号

昭和七年五月一日

四六ページ

伊独に於ける作業指導

写真版

工具機械の歴史的研究五

岡山 秀吉

天平芸術に現はれたる我が国民性 前承

大崎 清澄

塗料の研究一

佐野 正造

深燒の實際

池本 忠治

新潟県の郷土工業

小野 義吉

工業科郷土資料目錄

福岡師範学校

雜報

會員勸静

入会者

昭和六年度會計決算報告

入会者

除名

會費領収

昭和七年度會計予算案

第百四十三号

昭和七年六月一日

四九ページ

バウハウス作品・津山小学校成績品

工具機械の歴史的研究六

岡山 秀吉

ヨーロッパに於ける有史前の芸術
手工科性人考

新教育の手工科を如何に觀る

ネーデルラントの手工科を如何に觀る

塗料の研究二

新刊紹介

あくちゆ之るおるぬうまんの二考案

新刊紹介

雜報

會費領収

會員勸静

入会者

會費領収

第百四十四号

昭和七年七月一日

五〇ページ

アカンガスルイ十文世式事務机

写真版

工具機械の歴史的研究七

岡山 秀吉

作業科に対する希望

伊藤 信一郎

手工の心理の基本的考察

阪本 一郎

手工科に於ける廢物利用化の研究九

佐藤 平太郎

金屬接合の實際

石塚 文司

石井 明

阿部七五三吉
山樹儀重
高橋千代三郎
田中 俊造
佐野 正造

予備試験と私が受けたら
児童木工競技会

石田 岩雄
伊藤 高電 三郎

雑報

第百四十六号

昭和七年九月一日
五二ページ

会員勲静
入会者

砥盤鉋の製作順序・奈良果女子師範学校成績品
手工科文換受験準備に就て
職業指導と手工教育
創作と研究 承前

阿部七五三吉
三橋 節
高橋 良助
佐野 正造

会費領収

塗料の研究 完

平田 幸市

第百四十五号

昭和七年八月一日

四六ページ

宋磁州窯花紋瓶・文様本紙成績品

写真版

新教育は手工科を如何に観る 前承
線の感情的傾向

高橋千代三郎
清田 真訣

塗料の研究

佐野 正造

能率増進試験の実験談

藤 五代 策

愛知県木の工業

伊藤 永造

雑報

会報

会報

会員勲静

会員勲静

第百四十七号

会費領収

南洋の工芸

昭和七年十月一日

五〇ページ

手工教育の刷新

写真版
石谷 辰治郎

田島 誠造
石田 久三郎
藤岡 秀信
高橋 清蔵

生活指導と手工教育

現代教育界に対する要望の一

手工手工工業科と図案教育との提携

新しき御土手工工に対する一考察

最近の御土教育問題と手工図画教育

新手工教育指導法の考究九

塗装に於ける新技法

打刀物の鑑別に就て

小学校に於ける陶器金工

雑報

会報

会費勸募

入会者

会費領収

阿部七五三吉

作井 弥三平

東本 貞治

熊谷 梅太郎

矢崎 好幸

笠井 和助

加藤 俊雄

名古屋市手工研究会

吉田 清三

粘土塗装法

博多人形を語る

陶芸座談

雑報

会報

会費勸募

入会者

会費領収

田原 幸三

古屋 盛寿

ビー・ハリラン

加藤 春花

石田本誌記者

加藤 雪山

島倉 猛於

田中 露川

第百四十九号

昭和七年十一月一日

五一 ページ

福岡県豊津中学校工業科作業実習

大阪市高寺東女学校作業実習・作由

作業科に就いて

作業科の作業場の設備について

作業科と中等教育

中学校に於ける作業科への要望

岩村田中学校作業科実施の概要

女学校作業科施設についての私見と我枝の

農園

我枝の工業科教材配当表

群馬県の作業科研究会

須貝 敬二

園田 三次

S本誌記者

阿部七五三吉

山内 佐太郎

加藤 貞男

柳沢 正直

岡山 秀夫

写真版

写真版

岡山 秀夫

阿部七五三吉

山内 佐太郎

加藤 貞男

柳沢 正直

須貝 敬二

園田 三次

S本誌記者

須貝 敬二

園田 三次

S本誌記者

須貝 敬二

園田 三次

S本誌記者

第百四十八号

昭和七年十一月一日

五四 ページ

写真版

朝倉 文夫

伊藤 信一郎

大隅 為三

島倉 猛於

帝展彫刻

彫塑への道

文枝の粘土細工に就て

帝展第四部の工芸

粘土採形法

京都府に於ける作業科
雑報

石川 泰 男

会報
会員 勳 静

会報
会員 勳 静

入会者
会費 領 収

入会者
会費 領 収

第 百 五 十 号

昭和八年一月一日

五 三 ページ

目次

第 百 五 十 一 号

昭和八年二月一日

五 九 ページ

昭和八年への展望・作品

写真版

手工教育と高等小学校

阿部 七五三 夫

必然に即する手工教導

恩地 孝四 郎

手工科経営上の實際問題

山田 義 郎

有機的存在としての工業科

谷口 正

飛騨を背景としたる古川枝の手工

山下 泰 助

専東朝日枝の手工工業教育

川原 熊五 郎

年頭言

手塚 又四 郎

平野 清 司

中山 耕一 郎

新刊紹介

日本手工研究会蔵書目録

授業を描く

雑報

高橋 千代三 郎

作品

独立に於ける中學校の作業科

中田 俊 造

女子教育と技能科に就て当時者の考慮を求む

吉岡 啓 三

手工科主要材料取扱實施上の注意 東京市常盤尋常小学校

新教材提議者に聞く

テニソ画の教育的価値

板倉 賛 治

色テニソ画の教育的価値

佐藤 平太 郎

糸釋細工の教育的価値

佐藤 平太 郎

卵殼モザイクの教育的価値

天崎 好 幸

ペニス技法の教育的価値

岡登 貞 治

セメント工の教育的価値

熊谷 梅太 郎

革細工の技法及び教育的価値

衣島 千代

はるゑ染の提唱

山内 作太 郎

木象嵌技法

杉山 甚 一

雑報

新刊紹介

日本手工研究会蔵書紹介

会報

会員勲静

入会者

会費領収

第百五十二号

昭和八年三月一日

五ニページ

手工科文検成績品

工具機械の歴史的研究ハ

時代の要求する手工教育

相嘗体の考へ方

私はかくして文検を合格した

笠井 和 助
藤井 善 八
与世里 盛 喜

手工科文検問題集(明治時代)

雨田 稔

谷間 勇

中山 利 一郎

松原 郁 三

山下 俊 三

写真版

岡山 秀 吉

三哲 正 雄

大和 喜 栄

近角 清 義

藤田 義 治

清田 義 雄

井上 大

高橋 千代 三郎

手塚 又 四郎

平野 清 司

溝口 勝 也

石田 岩 雄 監者

雑報

会報

会員勲静

入会者

会費領収

第百五十三号

昭和八年四月一日

五三ページ

文検手工科本試金工成績品・金工製図及成績品

文検作業科の受験について

工具機械の歴史的研究九

作業科に於ける園芸に就て

新学年手工科経営方針の確立

手工科主要材料取扱上の注意 = 東京市常盤尋常小学校

文様の史的考察より現代に及ぶ

手工科文検問題集(昭和年間)

鱗粉転写紙の表装材料化

埴多人形を語る

雑報

新刊紹介

回手専の一ヶ月

日本手工研究会蔵書紹介

岡山 会長

岡山 秀 吉

野原 重 雄

山田 義 郎

大隅 為 三

大隅 為 三

枚 仁 郷 和 一

古 屋 盛 寿

古 屋 盛 寿

加 納 生

加 納 生

加 納 生

加 納 生

会報
会員動靜

第百五十四号

昭和八年五月一日
五。ページ

- バウハウス作品・川崎市田島小学校手工科施設状況
- 中学校の作業科の視察について一
- 現代建設の合理性と日本趣味
- 私の手工教授法
- 抽斗の効果と構成
- 刷毛の知識
- 藤五代策を訪ふ
- 巡り独逸木
- 蛇哇玩具
- 独り様子降
- 手工科又模題集(大正元年〜昭和三年度)
- 雑報
- 会報
- 会員動靜
- 入会者
- 会費領収

- 写真版
- 阿部七五三吉
- 藤島亥治郎
- 高木 進
- 雨田 稔
- 久保村誠司
- 本誌記者

第百五十五号

昭和八年六月一日
四七。ページ

- 金剛製ブロンズエンド・石嶽彫刻煉彈三勇士
- 第二世手工教育の泰斗岡山秀吉先生の死を偲ぶ
- 中学校の作業科の視察について二
- 作業科に対する文部省の意見
- 萬国婦人子供博覧会出品手工及手芸作品に對する審査私観
- 工芸史研究の文献
- 作業科設備の実際
- 印刷術の実際上
- 第七回講習会開設にあたって
- 藤の技法階程
- 親縁の簡易製作法
- 雑報
- 会報
- 会員動靜
- 入会者
- 会費領収

- 写真版
- 阿部七五三吉
- 本誌記者
- 佐藤平太郎
- 一氏 義良
- 園田 三 次
- 竹 沢 真 三
- 竹中正義
- 山口愛親

第百五十六号

昭和八年七月一日
四八。ページ

作業科作品二種

写真版

挨拶

師範学校ニ部及増課科目の手工科経営に就いて

阿部七五三吉

竹製玩具に就いて

手工車科の教師と小学校長との懇談

山田義郎

香藤金造

清田清

石川泰男

手塚又四郎

古野内治郎

三吉正雄

溝口勝也

阿部会長

松原郁二

石田記者

雑報

会報

会員動静

入会者

会費領収

第百五十七号

昭和八年八月一日

八五ペーシ

牙辞

阿部七五三吉 板倉賛治
嶺岸耐七郎 大瀬甚太郎
若月岩吉 山内作太郎

葬儀記録

本邦勤労教育上に占むる岡山教授の地位

故岡山秀吉先生の業績

岡山先生

故岡山君を憶ふ

岡山教授と私

故岡山先生を憶ふ

岡山教授の追憶

岡山先生逸和集

豆腐攻め

四十余年辛苦跡

朗なる岡山先生

岡山先生の徹底主義

岡山先生と酒

恩師岡山先生をしのびて

悼悵

岡山先生の温情

思ひ出

或日の日記

窓に凭りて

しのびまつりて

おもひ出

大専 ヲクカ
末弘 巖太郎

土肥 脩策
中瀬 勝太郎

日本手工研究会

乙竹 岩造

阿部七五三吉

板倉 賛治

宮田 光雄

棚橋 源太郎

生駒 馬治

佐々木 秀一

富田 馨吾

那須田 茂

山内 作太郎

木村 連

矢島 雅夫

古川 誠逸

田中 修

佐藤 太気美

山下 俊三

君島 忠吾

上甲 二郎

長谷川 規矩進

長谷川 規矩進

長谷川 規矩進

私の学生時代
東和正調進分の恩人
偲ぶ

岡山先生

手工科建設者岡山教授の追想

岡山先生を偲ぶ

岡山秀吉君を偲ぶ

文の病床誌

青少年時代の岡山先生を偲ぶ

千葉時代の岡山先生を偲ぶ

千葉時代の岡山先生を偲ぶ

秋田時代の岡山先生を偲ぶ

高等師範在職の頃

第百五十八号

昭和八年九月一日

五二ページ

文様手工科本試成績高・第七回夏期講習会 写真版
工作科並工業科設備の旨趣及び計画 横山忠義
混凝土工技法の実際 東京高等師範学校手工教室
印刷術の実際 中平版印刷術 竹沢真三
フォノグラフオー設計と製作 花園 一
文様受験記 竹内助雄
雑報

手塚 又四郎

鈴木 孝英

古野 円次郎

母東 寿郎

内海 静

大妻 ツツカ

砂崎 徳三

岡山 寛太郎

小屋 光雄

石井 要

鈴木 安太郎

三平 円治

会員動静

第七回夏期講習会記

会報

入会者

会費領収

岩越 二郎

梁川 清一郎

肥沼 季平

石田 岩雄

第百五十九号

昭和八年十月一日

四八ページ

質疑に答ふ
手工科に対する感想 中田 俊造
鍛金技法の実際 伊藤 重蔵
金剛砂砥の組織並取扱法の研究 阿部 七五三君
天然物応用染色法 松川 松五郎
新刊紹介 上野 義郎
印刷術の実際下 高田 馨吾
自在小口台の考案過程 高橋 岩次郎
輪島の漆器に就て 竹沢 真三
蔵書紹介 芳賀 鶴松
雑報
会報
入会者・会費領収

第百六十号

昭和八年十一月一日

四九ページ

創作と手工教育

工夫創作は如何にして指導せらるべきか
工夫創作は如何にして指導せらるべきか
創作と研究(承前)

竹製品の考案四種

彫金術

或日の教育案

文藝作業受験記

作業科受験記

たれ行く今戸焼を語る
江戸名物

新刊紹介

蔵書紹介

会報

新入会者

会費領収

第百六十一号

昭和八年十一月一日

四八ページ

ボール紙細工・園技

造形教育における時代の新潮

写真版
三吉正雄

伊藤信一郎

山田義郎

松田秀憲

高橋良助

藤五代策

中村春野

井上 広

大和喜栄

出町寛一郎

岩越 勘一

日本女子教育と手工教育(其一)

接合剤としての膠とカゼインに就いて

印刷術の実際(下)

ラッカー塗料並に簡易装置に依る吹付
塗料法

裝飾用人造石の製法

作業科受験記(三)

染色入門(主として染料に就いて)

雑報

会報

会費動静

入会者

会費領収

小西美良

佐野正造

竹沢真三

小野義吉

天間愛雅

出町寛一郎

松井清人

第百六十二号

昭和九年一月一日

五四ページ

中宇字校作業科協議会出席者・帝辰出品

製作能力の教育についての考察

日本女子教育と手工教育(其二)

勤労教育の本質と其の使命

工業原料としての鉄に關して

我校の手工科・工業科の経営実際

名古屋中第三高等小学校

写真版

阿部七五三吉

小西美良

松井清人

加藤 泰

後藤祝次

金沢市小狩町高等小学校

鹿野島市荒田小学校

鹿野島市志布志小学校

中等学校作業科協議会情况

会報

入会者

会費領収

会員動静

多幡真澄
西村盛明
田丸愛吉

第百六十三号

昭和九年二月一日

五〇ページ

職員協働作業実況・東京府青山師範学校生徒作品

改米視察雑感

日本精神と手工教育

手工科に於ける圖案教育不振の原因

紙細工について

手工科新題

エリミネーター電源トランス製作

霧吹器の製法

校舍模型共同製作の指導を顧みて

手工科経営者の信念

実業科作業科施設概要

写真版
秋保 守治
伊藤 信一郎
山形 寛
杉山 甚一
久保田豊治郎
大和 喜栄
小野 義吉
花尻 義雄
河上 磯一
許斐 七郎

文後手工科準備法

会報

会員動静

入会者

会費領収

増原登吉

第百六十四号

昭和九年三月一日

五八ページ

新潟県高田師範学校生徒作品・生徒実習

手工教育上公民的取扱の目的、教材・教授上の注意といふ質問に答ふ

東京高等師範学校卒業生等作業科講習状況

作業教育に関する講義要項

工作実習指導要項

園芸作業各月実施方法要項

主要園芸用病蟲害防除薬剤に就て

雑報

会報

会員動静

入会者

会費領収

写真版

阿部七五三吉

阿部七五三吉

阿部七五三吉

野原重衛

三木末武

第百六十五号

昭和九年四月一日

五のページ

第十四回帝展出品作・奈良県女子師範学校生徒作品

作業科文様についての所感

政米視察雜感(其ノ三)

政米を見て私は斯く思ふ

手工科に於ける美術的陶冶

日本女子教育と手工教育(其ノ三)

手工科実地授業研究会の概況を述べて大方の教を乞ふ

長谷川義起氏に帝展彫刻評を聴く

紙細工について(三)

東京高等師範学校回画手工専修科入学試験記

雑報

会報

会報

会員勸告

入会者

会費領収

写真版

阿部七五三夫

秋塚守治

下川兵次郎

山内作太郎

小西美良

香藤金造

石田岩雄

杉山甚一

長野県岩村田中学校生徒作業実習状況

兵庫県赤穂中学校生徒作業実習状況

小学校教員精神作興大会と下川理事

最近の教育思潮から見たる工作教育

標本を忘れた手工

作業と其の心理

直訳時代の手工教育の展望

デスマスクを取りたる記録

紙細工について(三)

本校に於ける騰字版実施状況

ブウルデル式テラコッタ窯製作法について

作業科文様の受験要領

会報

会員勸告

入会者

会費領収

写真版

阿部会 長

阿部七五三夫

板倉 賛 右

伊藤 信一 部

富田 馨 吾

石井 明

杉山 甚一

川口 四郎

田中 房 雄

大和 喜 栄

第百六十七号

昭和九年六月一日

五七のページ

第百六十六号

昭和九年五月一日

五のページ

熟練の心理

日本手工研究会第九回総会出席者

師範学校生徒実習状況(男子・女子)

日本手工研究会第九回総会挨拶

写真版

阿部会 長

武政 太 郎

基本練習と興味

インヤの研究

天然産砥石に關する研究

小学校に於ける理科と手工との連関

簡易なる日本家屋の工作法に就いて

会報

日本手工研究会蔵書目録

会員勸静

入会者

会費領収

雜報

三吉正雄

佐野正造

富田馨吾

戸田忠吾

濱治静一

小学校に於ける理科と手工との連関(三)

小学校国語読本に關連した尋一の手工教材

芝区手工科実習会概況

雜報

会報

会員勸静

入会者

戸田忠吾

保谷

樋口澄雄

第百六十八号

昭和九年七月一日

五二ページ

高等小学校生徒作品及実習白

阿部会長の還暦を祝して其の自筆を祈る

工業地方と手工教育との關係

手工科を徹して我が國の一般家庭に簡易なる手工具の備附けを奨励せよ

手工と環境

新教材としての棕櫚葉細工

野鳥の巣箱研究

簡易なる日本家屋の工作法に就いて(三)

写真版

斎藤金造

阿部七五三吉

佐藤平太郎

中田俊造

富田馨吾

阿部宇助

浜治静一

第百六十九号

昭和九年八月一日

五四ページ

東京高等師範学校生徒共同製作と

第六十回文棟本試手工科成績白

技能教科の本質

手工と環境(三)

師範教育制度改善と技能教育

女兒の手工教材と竹本金工

發明について

趣味の樂燒に就て

簡易なる日本家屋の工作法に就いて(三)

漆細工同好会指導の一部

雜報

會報

写真版

為藤五郎

中田俊造

小西美良

伊藤信一郎

藤五代策

水野喜作

浜治静一

許斐七郎

会員動静

入会者

会費領収

第七十号

昭和九年九月一日

五二ページ

第八回夏期講習会会員・同奥習状況

写真版

手工業作業科に關する 教育博物館の建設を提唱す

斎藤金造

手工と環境 三

中田俊造

岡山先生の千葉師範学校時代の手工教育観

富田馨吾

鉄筋コンクリート及鋼コンクリート構造物の強さに關し

加藤泰

漆園の書き方と其の指導に就て

山形寛

最新手工作業 農業手工教材

鯨島宗範

中学校に於ける園芸の使命

大和喜栄

飛騨工匠考

山下恭助

第八回夏期講習会状況

伊藤勉

雅報

会報

会員動静

第七十一号

昭和九年十月一日

五〇ページ

東京成蹊高等学校生徒作業状況

写真版

非常時と手工教育

阿部七五三吾

本邦創設當時に於ける手工教育

富田馨吾

文庫準備より見たる文部省主催作業科講習会に於ける会員の實習に就ての所感

手工科受験記

大和喜栄

作業科受験記

茶谷勝治

会報

岩橋善雄

会員動静

入会者

会費領収

第七十二号

昭和九年十一月一日

四八ページ

朝倉塾展出品作・作業科實習状況

写真版

教育の機会均等と高等小学

下川兵次郎

指導法、経営法に關する新問題

山田義郎

工作室の設計に對する省察

伊藤信一郎

師範教育改善案と園画手工教育実施案

小西美良

園芸作業科に於ける冬期間の教材に就て

三木末武

木材着色剤「ステイン」に就いて

佐野正造

金工の実技に就て
 黒板用移動式丁字定規の作り方
 手工科受験記
 作業科受験記
 雑報
 新刊紹介
 会報
 会員勳静
 入会者

石塚 文司
 高木 進
 江角 清義
 島田 英好

第百七十三号

昭和九年十二月一日

九六 ページ

帝國美術院第拾五回美術展覧会出品作
 故藤五代某君の面影

写真版

茅辞

理事、藤 五代某君の死を惜む

阿部七五三君

手工科革新の方途

三苫 正雄

工作の美的要素

石井 明

師範教育改善案と図画手工教育実施希望案

小西 美良

工芸生活と手工科

花原 義雄

手工教育と人生

吉村 末吉

園芸作業科に於ける冬期間の教材に就て(三)

三木 末武

金工の実技に就て(三)

石塚 文司

雑報
 会報
 会員勳静
 入会者
 会費領収
 日本手工研究会会員名存身別数
 社団法人 日本手工研究会々員名簿

第百七十四号

昭和十年一月一日

四八 ページ

樺太豊原中学校作業科に於ける養豚
 帝國美術院第拾五回美術展覧会出品作

写真版

報告

農村工業化と手工教育

阿部七五三君

廃物利用工芸の教育に就いて

実業を重視する満洲国教育事情

山田 義郎

近畿大風害倒壊校舎を考察して

花原 義雄

手工教育と密接なる交渉をもつ工場地帯

平田 幸市

木炭への彫刻の試み

茂木 三郎

金工の実技に就いて(三)

那須田 茂

鑪及鑪仕上に就いて

石塚 文司

会報

上村 定雄

会員動靜

入会者

会費領収

第百七十五号

昭和十年二月一日

四八ページ

植木鉢台(作業科本試験工作成績品)
温室(東東文理科大学植物学教室)

農村の振興と手工教育

米國に於ける手工科の印象

小学教科指導原理の草進

古學手面に関するし

ツバキの挿木に関する実験成績

金工の実技に就て(四)

教育改造意見(二)

文模手工科受験記

文模手工科受験記

雑報

新刊紹介

会報

会員動靜

入会者

会費領収

第百七十六号

昭和十年三月一日

四八ページ

千葉県師範学校生徒製作・東京高等師範学校
後伊藤藤一(即人)作・滋賀県女子師範学校生徒
成績品

手工科と細工

工業科教育の重要性

我國に於ける隠れたる手工科提唱者

制作の母胎

黎明家の物の見方

展開画法の種々相(三)

金工の実技に就いて(五)

教育改造意見(三)

手工科受験記

手工科受験記

会報

会員動靜

入会者

会費領収

写真版

板倉 賢治

三石 正雄

富田 馨吾

花尻 義雄

古屋 盛寿

村上 四郎

石塚 文司

出町 寛一郎

坂本 優

藤元 雅夫

第百七十七号

昭和十年四月一日

四八ページ

視音像 河村嘉祥氏作

東京市麻布区高等小学校高等二年工業科生
徒実習

創作は必要から生れる

上原六田郎先生の手工教育について

河村嘉祥先生

新業紙細工

研究拾輯

鉋刀の研磨に就て

簡易なる舟木象嵌に就て

児童は如何にして飾物自を製作したか

廢物創作工芸展園西に雄飛す

最近の京都に於ける園画手工の展覧

名古屋市小学校手工芸展覧会記

雑報

会報

会員動靜

入会者

会費領収

写真版

阿部七五三夫

富田 馨 丑

米山 利 助

末 友 長

染川 清一 郎

鬼頭 鎌 吉

寺西 金 造

林 幸 四 郎

八岐 義 山

佐藤 太 氣 美

竹内 助 雄

手工作業の陶冶価値と製作

彫塑の鑑賞(二)

物觀る態度(三)

教壇から子供が觀えるか

普通住宅の一室を子供部屋に改造するに就いて

泥絵具の化学的考察

環境と着想

金工の実技に就いて(六)

騰写用鏡板の清浄法

展園園の種々相(三)

会報

会員動靜

入会者

会費領収

伊藤 信一 郎

長谷川 義 起

花尻 義 雄

高橋 千代三 郎

染川 清一 郎

埴田 忠 一

浜治 静 一

石塚 文 司

茂木 三 郎

村上 四 郎

第百七十九号

昭和十年六月一日

四八ページ

東京高師附属中学校作業科実習状況

里味銅造彫文庫(第二回園工展出色)高橋千代三郎氏作

教授に於ける方法原理としての手工作業 佐野 正 造

感じたままを二つ三つ

彫塑の観賞(三)

鉄と原料とする工業に關し

山形 寛

長谷川 義 起

加藤 泰

第百七十八号

昭和十年五月一日

四八ページ

東京府美術館開館十周年記念美術展覧会出品作

普通住宅の一室を改造したる小使部屋 染川清一 郎氏作

物観る態度(三)
園芸作業に使用せられるフレームの作り方
金工の実技に就いて(七)
簡易なる素焼窯についで
新しい折紙細工の道路
硝子について
展開図の種々相(三)
雑報
会報
入会者
会費領収

花尻 義雄
野尻 重雄
石塚 文司
津田 忠一
西村 隴
上村 定雄
村上 四郎

第百八十号

昭和十年七月一日

五四ページ

Lake Pacific High School 一年生教室
ボール紙細工新潟県高田師範学校生徒作品
第十回総会に於ける挨拶
勤労価値と勤労教育
科学と工業(二)
手工教育の回顧(二)
手工作品の体系要素に關する考察(三)
他教科に於ける手工の領域
昭和十年度小館飼育の概況

阿部 会長
阿部 七五三吉
秋保 安治
斎藤 金造
佐藤 平太郎
鈴木 定次
長浜高等女学校

金工の実技に就いて(八)
解る規矩法(三)
ニッケル鍍金法(上)
新刊紹介
雑報
会報
会費領収
入会者
会費領収

石塚 文司
高橋 良助
茂木 三郎

第百八十一号

昭和十年八月一日

四八ページ

富山県射水郡大島小学校児童の実習
横浜市大島小学校児童作品(高ニ工業科)
科学と工業(三)
手工教育の回顧(三)
手工作品の体系要素に關する考察(三)
都市に於ける手工教育
私の見る現下手工教育に於ける欠陥
手工児童に出来る書物の作り方
会報
会費領収

秋保 安治
斎藤 金造
佐藤 平太郎
伊藤 信一郎
山内 作太郎
庄司 浅水

入会者
会費領収

第百八十二号

昭和十年九月一日

四八ページ

日本手工研究会夏季講習会と夏
第九回本会主催夏季講習会実習状況

躍進途上にある手工科教育

米國に於ける手工科の現状

手工教育の回顧(二)

木工初步教材の二(上)

電気スタンドの製作

金工の実技に就いて(八)

手工児童に出来る書物の作り方(三)

第九回夏期講習会状況

新刊紹介

雑報

会報

会員動静

入会者

会費領収

三苫 正 雄
中田 俊 造
斎藤 金 造
杉山 甚 一
柴川 清 一 郎
石塚 文 司
庄司 浅 水

第百八十三号

昭和十年十月一日

四八ページ

文庫作業科本試実習状況
東京高等師範学校附属小学校児童作品

コンクリートエについて

手工教育の回顧(四)

手工教授と作業能率

手工教師の場合(二)

マスクの取り方

木工初步教材の二(下)

金工の実技に就いて(九)

ニッケル鍍金法(三)

解る規矩術(三)

手工児童に出来る書物の作り方(三)

新刊紹介

会報

会員動静

入会者

会費領収

阿部七五三吉
斎藤 金 造
西館 琢 輔
室 靖
長谷川 義 起
杉山 甚 一
石塚 文 司
茂木 三 郎
高橋 良 助
庄司 浅 水

第百八十四号

昭和十年十一月一日

四八ページ

東京成蹊高等学校作業科実習状況

日本の手工及び作業教育(三)
手工教育の回顧(五)

本邦手工教科書の変遷
銅の常識

ニッケル鍍金法(三)
手工児童に出来る書物の作り方(四)
応用

高梁悍教材の研究(二)
工作中心教育の夏休児童作品優秀展
施設とする

生徒の作業心理

協作手工
協会主催 第五回手工工作講習会状況
会報

会員動静
入会者

会費領収

阿部七五三吉
斎藤金造

富田馨吾
佐野正造

茂木三郎
庄司浅水

鈴木定次
飯島昌次

大坪 実

竹工教科書ニ三種
手工児童に出来る書物の作り方(四)
応用
展南園の種々相(四)

文換手工科受験記

手工科予備試験に付いて
手工科受験記

文換作業科受験記
作業科受験記
作業科受験記

雑報

会報

会員動静
入会者

会費領収

社団法人日本手工研究会会員名簿

柔川清一郎
庄司浅水

村上四郎

原田 徳
野村 寛次

江角清義
小野瀬四郎

第百八十五号

昭和十年十一月一日

一〇七 ページ

第九回朝倉執事展出品手塚又四郎氏作品

日本の手工及び作業教育(三)

手工教育の発達と振興(二)

西暦二千年前後を分点とする時代の美の差異に

阿部七五三吉

伊藤 信一郎

加藤 泰

第百八十六号

昭和十二年一月一日

一一四 ページ

上原六四郎先生肖像

上原六四郎先生銅像

後藤敦太先生肖像

岡山秀吉先生肖像

上原六四郎先生肖像

後藤敦太先生肖像

岡山秀吉先生肖像

上原・後藤・岡山三先生筆蹟

オットザロマン氏・ケルレンシュタイン博士肖像

大会、式場及宴會場

展覽會場

表彰状、感謝状及び記念品

明治・大正時代の師範学校手工科教材

東京高等師範学校旧手工教官室・教室

手工教育五十周年記念大会役員

宣言

手工教育沿革大要

手工教育創業者

日本手工研究会沿革

手工教育五十周年記念大会記念式

大会

展覽會出品目錄

手工教育功勞表彰者

記念大会出席者

阿部先生功績記念会記

寄稿

黎明期の手工教育

正に日本手工教育進展の時

手工科教育振興に就いて

労作教育の使命

日本手工研究会の過去と手工教育将来への希望

小学校の手工科に対する希望

学習院の手工科

一倉三十有余年

手工教育者の奮奮を望む

手工教育の発展を祈る

中学校に於て手工科を開設せる當時を回顧して

作業科より中學校校長に望む

岐阜師範に於ける手工設備の思出

過去の体験につきての感想

今後に期待する手工教育

手工は何所へ行く

手工機械に就いて

手工科用刃物に就いて

手工科

工業科

作業科

我が校の手工・工業教育の実際

日本精神と作業

我が校の作業設備概要

本校作業教育の一般

本校に於ける作業教育の概要

我が校の手工教育

本校手工科経営の概況

有藤金造

佐野正造

栗原源治

米山利助

小倉陸哉

中田俊造

伊藤信一郎

鈴木孝英

原田陸端

三苫正雄

西館环輔

田島義造

矢崎小三郎

神戸市兵庫高等小學校

大阪市明倫高等小學校

兵庫県立明石中學校

兵庫県立赤穂中學校

北海道廳立旭川中學校

静岡県立見付中學校

滋賀県立長浜高等女學校

奈良県立女子師範學校

京都府師範學校

本校手工科の過去と現在
我が校の概要

長崎県師範学校
大阪市五豊崎勤労学校

入会者
会費領収

手工に關する図書

手工教育五十周年記念大会会計報告

手工教育五十周年記念大会日記

第百八十八号

昭和十一年三月一日

五六 ページ

第百八十七号

昭和十一年二月一日

五六 ページ

東京高等師範学校附属小学校児童実習
藤真影奉安殿及和歌山県海南郡黒江小学校児童作品

日本の手工及び作業教育(三)

現代手工教育樹立の一面(二)

西暦一千九百前後を分点とする時代の美の差異

花卉園芸(二)

鐵と鐵着法について(二)

鑢及び鑢仕上げについて

手工児童に出来る書物の作り方(六)

手工教師の場合(三)

全国図書教育大会要項

雑報

会報

会員助静

東京市金龍小学校六年男木工旋盤指導
佐賀県師範学校一部三年生の作品

日本の手工及び作業教育(三)

現代手工教育樹立の一面(三)

花卉園芸(三)

鐵と鐵着法について(三)

手工児童に出来る書物の作り方(七)

彩色の指導について(二)

器具一題

未だ知られて居ない 用器画問題の考究

本市青年学校工業科経営

新刊紹介

雑報

会報

会員助静

入会者

会費領収

阿部七五三吉
小西美良
佐々木祐太郎
津田忠一
庄司浅水

藤原益夫
小野寺喜一
大和喜栄
村田良三

第百八十九号

昭和十一年四月一日

六〇。ページ

第二回帝國美術院展覽會出品作(木彫及工芸)

現代手工教育樹立の一面(三)

手工教育の回顧(文)

手工教育と採光照明

花卉園芸(三)

煙突基部の作図に就て

鐵と鐵着法について(三)

塗り塗り法

珠色の指導について(三)

雑報

会報

入会者

会費領収

現代手工教育樹立の一面(四)

花卉園芸(四)

養兔作業

形態差の移動

煙突基部の構造を中心にして

表層細工の研究

手工見童に出来る書物の作り方(八)

作業科施設要項

会報

雑報

会費領収

入会者

小西美良

佐々木祐太郎

野尻重雄

三石正雄

杉山甚一

田中富吉

庄司浅水

福岡県三潴中学校

第百九十号

昭和十一年五月一日

六〇。ページ

手工科教材研究会主催講習会情況

静岡県足柄高等学校の園芸作業場

手工科の普及に就いて

小学校に於ける科学教育としての手工教育

佐々木芳一

富田啓吾

第百九十一号

昭和十一年六月一日

六一。ページ

ベンチ(コンクリート)擬木教材研究会作品

ソドプレナー(高師園芸手工専修科生徒)

技能的教材の指導

手工科を愛護する方々に寄す

園芸作業資料

煙突基部の構造を中心にして(三)

紙型細工について

手工見童に出来る書物の作り方(九)

阿部七五三

山田義郎

三木末武

杉山甚一

宮谷福太郎

庄司浅水

木工新教材二個の内(三)
 粘土細工の寒天の用法について
 手工科に於ける事故と其の防止並に救急処
 置(二)
 雑報
 会報
 会員勸静
 入会者
 会費領収

久保 豊彦 部
 早川 義 貫
 山下 泰 助

第百九十二号

昭和十一年七月一日

七〇 ページ

第十二回日本手工研究会総会出席者
 東京市下谷区教育会手工部の染毛実習会
 筆拾遺回総会に於ける開会の挨拶
 労働と労作教育とについて
 作業教育の難航路
 造形精神の樹立
 欧米帰朝談(二)
 園芸作業資料(三)
 釘に就いて
 金工の史技に就いて(十一)
 文検図画科予備試験用器画問題解答

阿部 会 長
 小林 澄 兄
 長谷川 惣矩 進
 手塚 又四郎
 横田 仁 郎
 三木 末 武
 富田 啓 吾
 石塚 文 司
 杉山 甚 一

寄贈社団法人日本手工研究会
 故岡山秀吉所蔵圖書及標本目錄
 雑報
 会報
 会員勸静
 入会者
 会費領収

第百九十三号

昭和十一年八月一日

六〇 ページ

北海道廳立旭川中学校の作業科実況
 コンクリート製の洗面器・瀝水・水盤・スリル作品
 作業教育
 欧米帰朝談(三)
 樺太豊原中学校の作業教育
 技法断片
 手工児童に出来る書物の作り方(十)
 余り知ら用器画問題の考究(三)
 雑報
 会報
 会員勸静
 会費領収

浅野 孝 之
 横田 仁 郎
 吉田 貞 治
 染川 清 一 郎
 庄司 浅 水
 大和 喜 栄

第百九十四号

昭和十二年九月一日

六二 ページ

第十回手工作業科夏期講習会講師及会員

物を通しての人間教育

木工機械の機構

手工科に於ける事故と其の防止並に救急処置

手工児童に出来る書物の作り方(十二)

衣甲

編組工芸

廢物利用の一つ

四方転木口勾配の埋入れについて

手面用器画法集不成

第十回手工作業科夏期講習会実況

芝居手工科実習会概況

雑報

会報

会員動靜

入会者

会費領収

三苫 正 雄
大坪 実

山下 泰 助
庄司 浅 水

宮崎 元
高木 進

杉山 甚 一
又保田豊治郎

講習係 記
樋口 澄 雄

鹿児島県多夫施小學校高二男子工(竹細工の作業)

満洲旅行の印象記

日本手工作業科新樹立に対する一考察(三)

園芸作業(三)

編組工芸(三)

手工児童に出来る書物の作り方(十三)

手工児童に出来る書物の作り方(十三)

丁E.Sの製図規格に就て

手面用器画法集不成(三)

文様手工科及作業科受験の体験

手工科

作業科

第十回コンクリート講習会状況記

会報

会員動靜

入会者

会費領収

阿部七五三夫

小西美良

野尻重雄

宮崎元

庄司浅水

北岡一

久保田豊治郎

林幸四郎

中牧隆忠

小野 志

第百九十六号

昭和十二年十二月一日

六一 ページ

第百九十五号

昭和十二年十月一日

六二 ページ

大分県に於けるコンクリート講習状況

教育塔設計図壁面嵌装浮彫

昭和十一年文部省美術展覧会出品作

日本手工作業科新樹立に対する一考察(三) 小西美良

兵庫県手工教育の創設時代

園芸作業(三)

養鶏作業(二)

口絵解説

編組工芸(三)

竹工に於ける裝飾法の研究

廃物吸殻落し
利用

平面用器画法集成(3)

文様手工科及作業科多験の体験

手工科

作業科

社団法人 日本手工研究会定款正案

泥で茶碗を作る会

第十四回手工講習会(染色)

品川巳手工研究会

雑報

会報

会員動静

入会者

会費領収

増厚 登吉

野尻 重雄

野尻 重雄

長谷川 義起

宮崎 元

八木 正夫

小野 孝一

久保田 豊太郎

天野 藻見

楠 孝一

清田 義雄

第百九十七号

昭和十一年十二月一日

一一五ページ

昭和十一年度文展出品 藤野 舜正氏作

鋼製ペンスタンド 石塚文司氏作

日本手工教育革新樹立に対する一考察(三)

兵庫県手工教育の創設時代(三)

園芸作業(三)

養鶏作業(三)

筑前の刀匠末次繁光氏焼入見字記

公学堂教育の内容

文様手工科及作業科多験の体験

手工科

作業科

雑報

蔵書紹介

会報

会員動静

入会者

会費領収
社団法人 日本手工研究会 会員名簿

小西 美良

増厚 登吉

野尻 重雄

野尻 重雄

宮崎 元

古屋 盛寿

清水 松治郎

大川 民治郎

小野 志

小野 志

小野 志

小野 志

小野 志

小野 志

小野 志

小野 志

小野 志

小野 志

小野 志

小野 志

小野 志

小野 志

小野 志

小野 志

第百九十八号

昭和十二年一月一日

六四ページ

漆器鵝手箱 河西冬山氏作
兵庫県小野中学校の作業科
手工教育共鳴者への感謝
現今手工教材の再検討

伊藤信一郎
佐野正造
山内作太郎
三苫正雄

学校における作業への念願
阿部会長と近著手工教育原論に就いて
工作活動への誘導
第一東京市立中学校作業科工作実施概況
椅子の作り方に就いて
平面用器画法集成(四)

阿部七五三夫
山田義郎
富田馨吾
斎藤金造
染川清一郎
香藤金造
大坪実
早川義貫
宮崎元
久保田豊次郎

会報
会費動静
入会者
会費領収

第百九十九号

昭和十二年二月一日

五九ページ

小学校児童の実習・鏡台浅野義三衛門氏作品
秋文皇殿下の巻覧を仰ぐ
実業科の一般的陶術
兵庫県手工教育の創設時代(三)
二月の園芸作業
用具三題
角の三等分の研究を中心にして(二)
平面用器画法集成(五)
第一東京市立中学校作業科工作実施概況(四)
手工教室の建設を終へて(三)
文換手工科及作業科受験の体験
手工科
作業科
会報
会費動静
入会者
会費領収

西館琢輔
三苫正雄
増原登吉
富田馨吾
八木正夫
杉山甚一
久保田豊治郎
早川義貫
瀧尻昌夫
内山寛
中島好雄

第百号

昭和十二年三月一日

六三ページ

昭和十二年文展出品「草花図彩漆衝立」番浦省吾氏作
独創様型発電所佐伯卓郎氏作

手工科改作業科について
兵庫県手工教育の創設時代(四)
園芸作業(四)

ばらりの栽培

マスクの出来るまで

タカモトタン染色について

口絵解説

角の三寸分の研究を中心にして(三)

平面向器画法集成(六)

手工教室の建設を終へて(三)

雑報

会報

阿部七五三吉

増原登吉

野尻重雄

原田義作

川口四郎

加藤俊雄

杉山甚一

久保田豊次郎

瀧尻富夫

第二百一号

昭和十二年四月一日

六四ページ

紙人形 三重県女子師範学校生徒作

故清田実君

中学校に於ける教育改善と作業科

歌米各園に於ける最近の手工作業教育(二)

園芸作業(五)

ばらの栽培(三)

故清田実君の靈に捧ぐ

鈴木静穂

富田馨吾

野尻重雄

原田義作

奥付なし

第二百二号

昭和十二年五月一日

第一東京市立中学校生徒の作業場における生活
佐賀県女子師範学校生徒成績品
上右の尺度

歌米各園に於ける最近の手工作業教育(三)

園芸作業(六)

リンク給水塔の实地工作

帆布の折置式安樂椅子

竹椅子に就いて

創作と研究

臍本の中より

阿部七五三吉

富田馨吾

手塚又四郎

三正雄

高藤太一郎

松原郁二

齊藤金造

早川義貫

染川清一郎

宮崎元

久保田豊次郎

雑報

会報

富田馨吾

野尻重雄

大和素栄

染川清一郎

田丸愛吉

高橋良助

園田三次

平面用器画法集成(八)

文様手工科受験記

社団法人 日本手工研究会定款

雑報

会報

久保田豊治郎
瀧尻富夫

第百四号

昭和十二年七月一日

六〇ページ

面 久保田豊治郎氏作品

福島県手工専修科講習会の実習

日本の工業工芸画の世界の進出に就て

手工教育一家言

技能科発展論

新しい造形美の誕生

津軽塗考

藤椅子の製作

研究二題

高師回画手工専修科入学試験用器画問題を
中心とする研究

東京府作業教育研究会

福島県手工工業作業科講習会の概況及所感

新刊蔵書紹介

雑報

会報

阿部七五三吉
山形 寛
飛岡 文一
室 靖
阿部 珠作
宮崎 元
高橋 良助
杉山 荏一

第百三号

昭和十二年六月一日

六一ページ

全国手工教育大会及全国訓導協議会々場

岐阜県本巣中守枝工作実習

園芸作業(七)

全国手工教育大会(名古屋市手工教育研究会主催)

全国手工教育大会所感 佐藤 太氣美 平田 幸市
工藤 惣之助 佐藤 三樹夫

第四十八回全国訓導(手工工業教育)協議会初等教育研究会主催

高師回画手工専修科入学試験用器画問題を
中心とする研究

古野君と清田君と徳川

雑報

会報

杉山 荏一
飛岡 文一

第百五号

昭和十二年八月一日

六一ページ

南洋の团扇・形の美

幼児児童に於ける芸術的表現の特色について 武政太郎

日本工芸の美
銷夏画談天來貴稿

手工科創設時代の思出(座談会) 出席者

齊藤金造
原田儀作

福島県飯坂温泉の郷土玩具に就て

齊藤金造
加藤俊雄

静岡県教育会西
部中掌教員部会
手工工作研究会記

会報
雅報

金原省吾

阿部七五三吉

佐野正造

第三十一卷第九号

昭和十二年九月一日

六二ページ

社団法人日本手工研究会夏期講習会実況

第七回世界教育会議教育展覧会出品作

巻頭言

日本工芸の美(三)

新しい造形美の誕生(三)

熟練工養成問題と手工

銷夏画談天來貴稿

第七回世界教育会議概要

第十二回手工科作業科工業科夏季講習会実況

阿部七五三吉

金原省吾

空 靖

飛岡文一

見山

第七回夏季手工工作講習会記 另作手工協会主催

第六回桐光会回画科夏季講習会状況

雅報

個人動靜

第二百七号

昭和十二年十月一日

六〇ページ

茶室及佐賀県女子師範学校生徒作品

巻頭言

時局と手工教育

日本工芸の美(三)

新しき造形美の誕生(三)

故森文部大匠の手工教育意見

技能科発展論

教材研究

鮑及び砥石に就て

私の木工実技

新刊紹介

高師回画手工専修科入学試験用器画問題を
中心とする研究(三)

日本小学校に於ける Art and Handicraft Education
工作多業五年計画画実施と省みて

文様実験の体験を語る 手工科

齊藤金造

阿部七五三吉

金原省吾

空 靖

富田馨吉

飛岡文一

鈴木嘉吉

寺西金造

伊藤公一

杉山甚一

保江正義

齊藤正

雑報
個人動静

第二百八号 十一月号

昭和十二年十一月一日

六。ページ

文展出品 横江嘉純氏作・家具

巻頭言

時局と手工教育(三)

瑞豊に於ける手工科発祥当時の状況

我が国の手工教授について(二)

純熟練工養成問題と手工

園芸に就いて(二)

教材研究

研究三題

郷土工芸解説(山崎古燈の木型)

朝鮮の温突について

文様受験の体験を語る 作業科

生徒に持たせている
工作科と工業科の学習心得(二)

雑報

会報

第二百九号 十二月号

昭和十二年十二月一日

一〇七。ページ

漆器硯箱(文相大臣賞)本間舜華氏作

奈良女高師附馬高女第一部生手工実習

巻頭言

学校令公布当時の手工教育(明治十九年)

文展の工芸美術

文展第三部に就いて

手工科と手工・裁縫科の関連について

高等女学校に於ける手工科の実際

生徒に持たせている学習心得(三)

工作科と工業科の

糊の製法

私の木工実技

樂焼製陶法

文様受験の体験を語る 作業科

果下手工教育の現状

佐賀県
島根県

雑報

会報

社団法人 日本手工研究会 会員名簿

阿部七五三吉

富田馨吾

広川松五郎

長谷川義起

矢島俊枝

下瀬貞和

細島昇一

川口四郎

伊藤公一

鈴木嘉吉

谷口 志

古川 誠 逸

長井 八十一

夏場所印象・製作中の長谷川義起氏
竹工小品四題 崎玉県師範学校生徒作品

陳情書

時局と手工教育

阿部七五三吉

佐野正造

山田義郎

高田馨吾

室靖

昭和十二年に於ける手工工業及作業科教育

界の回顧

電気ランド懸賞回案佳作

県下手工教育の現状 崎玉県

文検受験の体験を語る

第四回東京府作業教育研究会総会

雑報
会報

松田 義之

伊藤 信一郎

三橋 節

飛田 文一

樋口 清人

斎藤 金造

瀧井 与志司

鈴木 嘉吉

手塚 又四郎

八木 深

巻頭言

満洲国新教育令と国画手工の地位

手工科の指導方法について(三)

園芸に就いて(三)

透視画の問題一ニ

金工夜話

子供の部屋

獅子頭インクスタンド

畠山村に於ける手工教育に就て(二)

速やかに高学年へ作業科の必設を望む

文検受験の体験を語る 手工科

府下手工教育の現状 京都府

会報

阿部七五三吉

鈴木定次

長島俊枝

佐々木祐太郎

山形 寛

末 宗広

鈴木 嘉吉

岡田 深

永島半三郎

瀧尻 富夫

初野 清

佐藤 太気美

第二百十二号 三月号

昭和十三年三月一日

五九ページ

優待兜及皇陵参拝

巻頭言

現代文化と手工芸

所感

手の訓練より眺めたる手工教育

皇陵参拝

阿部七五三吉

中田 俊造

三井 正雄

富田 馨吾

宮谷 福次郎

第二百十一号 二月号

昭和十三年二月一日

文一ページ

国民精神総動員及茨松一中新ポール

園芸に就いて(四)

茨松高女式工作机に就いて 静岡県茨松高女子学校手工藝室
私の木工実技 伊藤 公一

基礎研究とその製作学の提唱

農山村に於ける手工教育に就いて(三)

実践家庭手工

県下手工教育の現状 福島県

雑報
会報

佐々木祐太郎

伊藤 公一

八木 正夫

水島半三郎

(講) 森禎之祐

戸田 忠 邦

第二百十三号 四月号

昭和十三年四月一日

五五 ページ

瑞果・中野桂樹氏作

青森県下手工教育状況

曰独伊防兵協定慶祝

釘考

幼稚園に於ける木材中心の手工技に就いての一

考案木

新透視画法の研究

出題者評

簡素な椅子・卓子工作の経験

家具工作法(二)

皇陵参拝(三)

下川 兵次郎
高橋 直二

斎藤 金造

森 一 雄

山形 寛

北辻 俊一

鈴木 嘉志

宮谷 福次郎

県下手工教育の現状 青森県
雑報
会報

西館 誅輔

第二百十四号 五月号

昭和十三年五月一日

五六 ページ

御陵参拝集印軸 阿部会長蔵

ビナス像模作 山口愛親氏

御陵巡拝を完了して

手工教育研究方法の研究

釘考(二)

作業科論

手工教育と左手利

陶磁器の話(二)

月洲氏の色彩彫金法(三)

製作手工協会主催手工教育春季研究会記

家具工作法(三)

紙細工考(三)

再び感の教育につきて

素材利用の一端

高学年の手工教育
会報

阿部七五三氏

山田 義山

高橋 直二

室 靖

伊藤 信一郎

日野 厚氏述

富田 馨吾

鈴木 嘉志

沢川 清一郎

一柳 美津保

永福 佳久

山田 敏 雄

第百十五号 六月号

昭和十三年六月一日
五六ページ

第十三回日本手工研究會總會

手工教育と作業科、技術教育

新しい時代の形態

農学校に於ける工作教材

陶磁器の話(三)

新透視画法の研究

教材解説

講座園芸に就いて(五)

手工教育月評

月洲氏の色彩彫金法(三)

工学参観記

紙細工考(三)

私の木工実技

会報

会員消息

為藤 五郎

三吉 正雄

江幡 顯

日野 厚氏述

森 一雄

佐々木祐太郎

六郷 克二

富田 馨吾

編輯部

染川 清一郎

伊藤 公一

構作物の創設に就いて
欧米の国情と手工教育

文様の図案を見て

農学校に於ける工作教材(三)

手工教育月評

講座園芸に就いて(六)

見学参観記

師範学校に於ける粘土彫塑教材に就いて

紙細工考(三)

教材解説

月洲氏の色彩彫金法(三)

会員の頁

雑報

会員消息

板倉 賛治

三吉 正雄

松原 郁二

江幡 顯

六郷 克二

佐々木祐太郎

手塚 又四郎

染川 清一郎

富田 馨吾

第百十七号 八月号

昭和十三年八月一日
五五ページ

大学生の集団勤労作業、女学生に於ける集団勤労作業

東京文理科大学及び高等師範学校の集団勤労作業

東京市に於ける手工教育の概況

農学校に於ける工作教材(三)

手工教育月評

中田 俊造

山内 作太郎

江幡 顯

六郷 克二

第百十六号 七月号

昭和十三年七月一日
五八ページ

新しい感覚の手工芸品
構成美を盛った中学生の模型作品

今日の常識

見学參觀記

研究 私の経験三題

創作と研究

会員の頁

時局下に於ける手工材料材料調査について 日本手工研究会

創作図案採問題

賃肉衣答欄

雑報

会員消息

執筆者紹介

編輯後記

第百十八号 九月号

昭和十三年九月一日

五七ページ

第十二回講習会出席者、シヤワの手工芸品官

国民学校採案に於ける「芸能科」について

フランス断片

女子手工教育の重要性

手工教育月評

今日の常識

集団的勤労作業特輯

集団的勤労作業の本日に就いて

渡治 静一
高橋 良助

勤労作業

本校に於ける集団作業実施の大事

夏季休暇訓練実施報告書

集団奉仕勤労作業報告

貯炭場築造日記

教材解説

本会主催第十二回夏季講習会実況

第七回桐光会主催図画科講習会記事

労作手工協会主催第八回夏季手工作講習会記

創作図案入選発表

創作図案採問題

国民学校採案

雑報

会員消息

執筆者紹介

編輯後記

中村 暹

茶谷 勝治

北海道庁立稚内中学校

伊藤 正哉

一柳 美津侍

第百十九号

昭和十三年十月一日

五七ページ

院展から、ニ科展から

挨拶

巻頭評論 我が道を歩め

中学校作業科教員の養成に就て

阿部 然々堂 見山

山形 寛

斎藤 金造

手工教育月評
郷土研究九

ムツの玩具

アイ又紋様考

伊勢カビ子型紙

今月の常識

ある講習会のスケッチ

教材研究九

創作回覧表発表

文部省作業科講習会に出席して
主催

文部省飛行協会主催学校教員清空機製作講習会実況

質問応答欄

雑報

会員消息

執筆者紹介

編輯後記

六郷 克二

阿部 孫作

鈴木 嘉吉

津川 清一郎

一 記 者

大坪 実

臨時物資の需給調整に関する法令と手工科
の関係

集国勤労作業の実施と効果(二)

国家存立の必然性に帰納されるべき作業教育

時局下に於ける手工教育

手工教育月評

塵埃電の設計と工作

見学考察記

研究九

指板及び界引の整理に就いて

創作と研究

教材研究

作業科多岐の思出

創作回覧表発表

今月の常識

質問応答欄

会員の頁

雑報

会員消息

執筆者紹介

編輯後記

富田 馨吾

早川 義貫

工藤 茂太郎

一柳 美津保

六郷 克二

大和 喜栄

浅野 義三衛門
高橋 良助

I N 生

第二百二十号

昭和十三年十一月一日

五七ページ

文展から彫塑、工芸

巻頭言 技術よりも精神を養へ

手工教育の原理は動かぬ

阿部七五三吉

アトリエの長谷川義起氏、文展第三部から

巻頭言 長期建設と教育

総合教授に対する把握

支那事変と手工科教育(二)

練成の教育

第三回文展第四部覧之書

文展第三部を視て

手工教育月評

芸能科中の「作業」は造形教育たるべきである

質問充答楠

集団勤労作業の実施と効果(三)

随怪我の弁

病床一日

持務兵隊軍の想ひ出

教材研究

手工科文検査験の体験

創作回案入選発表、今日の問題

雑報

会員消息

社団法人日本手工研究会会員名簿

編輯より

執筆者紹介

為藤 五郎

山内 作太郎

松井 清人

広川 松五郎

長谷川義起

大仰 克二

松原 郁二

早川 義貫

山形 寛

室 靖

佐々木兼次郎

多羅 教雄

廣心普遍部工作を以、全国中業学校作業教育協議会委員
巻頭言 上からの革新、下からの革新か

技術教育の問題

新造形教育の使命

最近の教育思潮と手工科教育

時局に直面しての手工教育者の使命

「月評」技術よりも精神を養へよと読みて

手工教育月評

私の工作教育

全国中業学校作業教育協議会状況

創作回案発表

教材研究

島根県学童手工大会の記

今日の常識

会員の頁

質問充答楠

雑報

会員消息

編輯より

執筆者紹介

小林 澄兄

三苦 正雄

伊藤 信一郎

佐藤 太気美

下川 兵次郎

横田 仁郎

一記 者

天野 茂時

スカール競技、木工新聞掛
巻頭言 作るのぢや、作るのぢや

手工教育の軌道

産業の近代と手工教育

手工教育の重大危機に直面して(三)

瘦我慢の精神と作業科教育

長期建設下に於ける作業科の大使命

支那事変と手工科教育(三)

手工教育月評

研究
染色色

工作に於ける教授形式の分析

立体標本の作り方

集団勤労作業の実施と効果(三)

愛国七九号(九二式戦闘機)製作記

教材研究

文相に激す

創作図案発表、今日の問題

今日の常識

質問応答欄

雑報

会員消息

執筆者紹介

大坪 実

富田 馨吾

鈴木 定次

佐々木 兼次郎

大和 喜栄

山内 作太郎

伊藤 萬竜郎

八木 正夫

堀切 順平

早川 義貫

湯川 日出男

一柳 美津保

百高 弗之真珠の鐘、中学生の作ったグライダー
巻頭言 節約のため退嬰的となる勿れ

教育に於ける芸術と技術の位置

教育としての彫塑

作業科の基調を正せ

手工科と作業科の理念(前承)

手工教育現場の一断面

時局に對する手工教育の具体性

手工教育月評

研究
帶鉄の新教材

物置台を中心とする器形構成に就て

我が中学校に於ける作業科

教材研究

今日の常識

創作図案問題

質問応答欄

雑報

会員消息

執筆者紹介

篠原 助市

三若 正雄

山田 俊一

鈴木 定次

伊藤 正蔵

田中 善一

横田 仁郎

染川 清一郎

重田 尹二

バウネル(松原郁三作)・習作(沢田晴広作)
新築成れるドイツ總統邸(豊前)・クライター(藤川義治作)
巻頭言

教育に於ける芸術と技術の位置(三)

今後の作業科教育

手工教育の本質と其の前途(前承)

手工教育月評

北支に見る手工教育

〔研究〕木材塗装法並に塗料の研究

〔桑株細工に就いて〕

我が杖の粘土工

見学参観記

教材研究 小学生の手工教材

中学生の教材

手工教育のために

今日の常識

創作回覧表発表、今日の問題

雑報

会員消息

執筆者紹介

編輯後記

阿部七五三吉

澤原 助市

金田 久吉

鈴木 定次

高橋 好次郎

浜治 静一

泉川 完

永嶋 半三郎

一 記 者

森 一 雄

大郷 克二

国展から「南昌荆霸」「男の道」「生命の真相」(横田実)
「柵」(志持室椅子セツト)
巻頭言

陳情書

教育に於ける芸術と技術の位置(三)

学制改革に於ける国民学校授業中の貧弱

手工科を憐む

時局と手工教育

手工教育月評

〔研究〕器物製作の基本的考察

〔木材塗装法並に塗料の研究〕

手工科研究教授の記

創作回覧批評

ルネターニエ 工業科の一状況

教材研究 文様手工科に於ける回覧の研究に就て

今日の常識

雑報

会員消息

執筆者紹介

編輯後記

阿部七五三吉

澤原 助市

山内 作太郎

寺西 金造

富田 毅吾吾

浜治 静一

染川 清一郎

西野 茂

鈴木 嘉吉

第百二十七号

昭和十四年六月一日

六〇ページ

第十四回総会記念撮影、実在展から

巻頭言

熟練工の養成と手工科

新時勢に呼応する手工教育者の態度

時局下に於ける小学校手工教科の意義

帝大航空研究所見学参観記

手工教育月評

[研究]園芸に關係ある工作教材(二)

木材塗装法並に塗料の研究(三)

我が校の粘土工(続)

創作図案批評

制裁手段としての労働に關連して

教材研究

今日の常識

東京だより(五月の工芸展瞥見)

推報

会報

会員消息

編輯後記

執筆者紹介

三宅 正雄

山形 寛

徳永 英一

田中 美一

江幡 顕

浜治 静一

永嶋 半三郎

工藤 茂太郎

第百二十八号

昭和十四年七月一日

五四ページ

経緯展より及日本彫刻家協会展から

聖戦三周年

支那事変の真意義

工業大意指導への示唆

[研究]園芸に關係ある工作教材(三)

手工教育月評

ルネッサンジュ 相馬 焼

東京だより

文文校の図案を見て

楠文校手工に於ける用器画問題解説

教材研究

会員の爆声

創作図案批評

兵庫県中等学校作業研究会主催

集団作業教育研究会概況

今日の常識

会員消息

編輯後記

執筆者紹介

伊藤 正哉

江幡 顕

樋口 澄雄

松原 郁二

大和 喜栄

島 根 生

金岡 久吉記

桑棒細工の作品及聖戦美術展覧会から

巻頭言

行ーギヤウー

時代相と手工教育

近代的家具の特質

強制された勤労愛及好

制裁手段としての労働に関連して

手工教育月評

研究 園芸に關係ある工作教材(三)

教材

丈夫な正四面体の作り方

東京により

東京府立機械工養成所見学記

今日の常識

創作回案発表

雑報

会員消息

編輯後記

執筆者紹介

阿部七五三夫

松井清人

八木 深

植村 弘之

樋口清人

工藤 茂太郎

江幡 顕

斎藤 昇

高橋 良助

植垣 益夫

本会主催第十三回夏期講習会講師及会員及実習状況

巻頭言

夏期講習会に於ける報告の一端

精密機械の工業を見て今学校の手工教育を考ふ

長期建設下に於ける手工教育

研究 鋸の歴史に就いて

桑棒細工の新研究

セメント工教材回説(二一七)

今日の常識

手工教育月評

教材研究

創作回案批評

第十三回本会主催手工・工業・作業科夏期講習会実況

雑報

会報

会員消息

執筆者紹介

編輯後記

阿部七五三夫

斎藤 金造

増田 生

山田 敏雄

斎藤 昇

工藤 茂太郎

秋の美術館より

国定教科書の編纂を要望す

精密器械工業を見て小学校の手工教育に及

び(三)

手工中心生活単位の教科書

手工教育月評

随想スカンヂナビヤの旅

新著紹介

ルポルタージュ旭川中学校夏期集団勤労作業概況報告

労作手工協会主催第九回手工工作講習会記 蘇我原義顕

集団勤労指導者夏期鍛錬実習会状況 金岡久吉

教材研究

文)手工科受験記

榎 昭和十四年度文種作業受験の体験を語る 山田敏雄

今月の常識

雑報

会報

会員消息

創作回案今月の問題

編輯後記

執筆者紹介

斎藤金造

竹内助雄

石井明

山田敏雄

金岡久吉

蘇我原義顕

榎

山田敏雄

金岡久吉

蘇我原義顕

榎

文展より第四部出品

イルエー地方農家の内部廊下及農家入り

巻頭言 国策の線に沿ふ手工教育

教育審議会案に於ける女子中学校教科中の

手工品に對し其の改訂を要望す

体験により見たる低学年教育と労作

手工教育月評

随想スカンヂナビヤの旅(三)

研究)日本刀の研究

セメント教材回説(八一十五)

園芸に關係ある工作教材(四)

面白い題格留の切り方

教材解説

文種榎 文種作業科出題傾向と園芸受験 準備の対策

今月の常識

雑報

会報

執筆者紹介

編輯後記

三吉

佐藤平太郎

八木深

石井明

茂木喜作

江藤茂太郎

高橋良助

榎

山田敏雄

金岡久吉

蘇我原義顕

榎

第百三十三号

昭和十四年十二月一日

四六ページ

文展出品 七生報国の南郷少佐 長谷川義起

柔棒の電氣スタンド

巻頭言 御物曝涼拝観

人間園をめぐる三の立場

手工教育月評

随想 スカンデナビヤの旅(三)

新著紹介

日本刀の研究

創作図案発表

教材解説

雑報

会報

会員消息

執筆者紹介

編輯後記

第百三十四号

昭和十五年一月一日

四五ページ

水差の機能と工芸的価値を失はないナニ世紀頃の水差

各種のプラスチック及びナイロンにて構成した組み重ね椅子

巻頭言 日本の欠乏は「技術家」

時局と高等小学校手工教育問題

野崎 芳五郎

作業の背景としての宗教

手工教育月評

スキー術的に見たスキーの製作資料

中学校上学年教材

鉋の仕上

時局下に於ける農村小学校の手工陶冶に就て

雑報

会報

執筆者紹介

編輯後記

第百三十五号

昭和十五年二月一日

四六ページ

口絵

巻頭言 手工教育の体当り戦

手工教育の前途

竹の事ニ三

簡易顕微鏡映写機の作り方

園芸に關係ある工作教材(五)

日本刀の研究

手工教育月評

中学校女学校低学年教材

和風家具の名称に就て

日本に於ける労働奉仕運動

工藤 茂太郎

吉田 貞治

横田 仁郎

安武 直城

三間 金太郎

三若 正雄

水戸人・久米

日下部 真之助

江幡 顕

茂木 喜作

鈴木 皓崖

鈴木 嘉志

鈴木 嘉志

鈴木 嘉志

京都第一高等小学校手工科
奈良市学童作由並に奈良市学童手工競技
会概況

東亞の旅愁(一)
雑報

会員消息
執筆者紹介
編輯後記

第二百三十六号

昭和十五年三月一日
四六ページ

国民学校教則草案綱
口絵

巻頭言 手工教育者奮起すべし

図案学は前進する

製作能私考

廢物の利用學生と訓練

製作能私考

正方形より構成される直線形の一考察

竹に就いて(続)

和風家具調度品の名称に就て

手工教育月評

日本刀の研究(終)

一柳美津隆生

蘇我厚義頭

手塚又四郎

鈴木豊次郎

中元一男

山田義山

中元一男

永福佳久

久米志知郎

鈴木嘉吉

茂木真作

園芸に關係ある工作教材(六)
宮島みやけ

女子手工に對する一試案

集用作業実施計画に就いて

紀元二千六百年奉祝全国学童作品展覽會
概評

雑報

会報

執筆者紹介

編輯後記

第二百三十七号

昭和十五年四月一日
四三ページ

造形能練成の端緒

口絵

巻頭言 治者と被治者

航空教育と手工教育(一)

紀元二千六百年 全国児童作品展覽會を評す(一)

建國 祭 国民学校案と手工科(一)

工藤茂太郎氏への返答

手工教育月評

中学校中序年教材

江幡 顕

西野 茂

磯村 四郎

金岡 久吉

名川 空穂

石井 明

野崎 芳五郎

佐藤 平太郎

永福 佳久

樋口 清人

横田 仁郎

手工科への念願とその実践報告
 用器画に於ける球面の応用
 手工文様用参考図書解題
 技術の世紀に惟ふ
 全国児童作品展概評(続)
 阿部会長の御容態
 会報
 執筆者紹介
 編輯後記

藤本 一十
 大和 嘉栄
 富田 馨吾
 手塚 又四郎
 名川 生

日本に於ける労働奉仕運動(三)
 手工教育月評
 手工文様用参考図書解題(二)
 和報
 会報
 会報消息
 執筆者紹介

鈴木 嘉吉
 富田 馨吾

第二百三十八号

昭和十五年五月一日

四六ページ

国民学校教則案抜粋

口絵

巻頭言 造形能練成の端緒

航空教育と手工教育(一)

製作能私考

全国児童作品展覧会を評す(二)

徒軍の体験と造形教育への念願

中学校小学校低学年教材

葎の新工芸

国民学校茶と手工科(三)

オートンモロンの手工教授学

野崎 芳五郎
 中元 一 男
 佐藤 平太郎
 田川 萬之助
 鈴木 皓 崖
 日高 正 樹
 永福 佳 久
 富田 馨 吾

第二百三十九号

昭和十五年六月一日

四六ページ

第三回手工科独立運動に関する陳情

口絵

巻頭言 国防産業と工作教育

古美術研究の旅

オートンモロンの手工教授学

全国児童作品展を評す(三)

手工科に関する私見

航空教育と手工教育(三)

手工教育月評

正方形より構成された直線形(四)

手工文様用参考図書解題(三)

昭和十五年度文様手工用器画問題

会報

香藤 金 造
 富田 馨 吾
 佐藤 平太郎
 堀切 順 平
 野崎 芳五郎
 永福 佳 久
 富田 馨 吾
 野津 佐 吉

入会者

執筆者紹介

編輯後記

第二百四十号

昭和十五年七月一日

四七 ページ

口絵

巻頭言 芸能科工作教授の根本方針

芸能科教育要論

工作と教養

「ゆき」と云ふことの研究(九)

従軍の体験と造形教育への念願(続)

工作に關する教表に就いて

名物初子の由来

手工教育月評

第一回近畿師範学校手工科教員研究会記

機械化国防協会が文部省に具申したる要項

機械化国防協会とは

社団法人日本手工研究会定款

会報

会員消息

執筆者紹介

第二百四十一号

昭和十五年八月一日

四六 ページ

国民学校教則案

口絵

巻頭言 芸能科「工作」と教師の修養

芸能科教育要論(続)

新時代觀に立つ興亞日本の中学校工作教育

芸能科と教養(続)

国民学校教則案に於ける芸能科「工作」と機械作

教育

ゆきといふことの研究(続)

手工科が国民学校案に「工作」と改められしに就いて

高等工業科に於ける圖像指導

機械化国防教材資料室(二)

手工教育月評

粘土作品の焼成化(一)

時局に於ける工作教育私見(一)

本年度文壇作業科問題用器画の研究

原稿のかき方(二)

会報

会員消息

編輯後記

三苫 正 雄

佐々木 雄太郎

手塚 又四郎

上田 駒 男

岩上 行 忠

山内 作太郎

山田 敏 雄

樋口 澄 雄

足立 乙 市

田川 萬之助

編輯 部

昭和十五年九月一日
四八ページ

聖徳太子礼讃(一)

口絵

巻頭言 国民学校教科中における芸術科の地位使命

軍機械化と機械教育

時局下における工作教授を如何にするか

国民学校農業科工業の行き方

手工教育月評

胴張機の設計と作り方

粘土作品の焼成化(続)

機械化国防教材資料室(三)

原稿のかき方(続)

雑報

会報

会員消息

執筆者紹介

編輯後記

昭和十五年十月一日
四八ページ

工芸の聖徳太子御聖徳礼讃(続)
始祖

口絵

芸術科教師を優遇せよ

教学刷新上の芸術科工作教育の重要性

工業科設置の必要性和根本方針

手工教育月評

スキ製作者の実際

折紙の体系と創作的指導

接着材料に関する研究

機械化国防教材資料室(三)

英海相ウインストン・チャーチルの議会に於ける
技能戦術報告演説を想ふ

手工科が国民学校案に工作と改められしに
就て(続)

原稿のかき方(三)

手工教育者の功罪―某氏へ呈す―

北海道労作 第二回研究会報告

教育研究会

会報

会員消息

編輯寸言

昭和十五年十一月一日
四七ページ

紀元二千六百年奉祝美術展覧会出品作

巻頭言 大政翼賛と吾々の責務

国民学校と労作

三橋 節

島田 正一

大和 喜栄

永福 佳久

佐々木 雄太郎

池田 文福菴

山内 作太郎

編輯 部

室 靖

小西 重直

小學校に於ける製図教授

機械化国防教材資料室

手工教育月評

スキー製作法(三)

時局と新竹工教材の研究(二)

突狭み

郷土チヤグチヤグ馬コの製作

ラヂオ型文化紙屑箱

新体制と工作教育

雑報

人事動靜

新読者紹介

執筆者紹介

編輯寸言

三輪 捨三郎

大和 喜栄

野崎 芳五郎

杉浦 基史郎

相馬 計

高田 式義

瀧村 虎雄

中學校工作科紙学手教材其の二

模型飛行機

雪松

蜜柑箱利用の作り方

電気スタンド

豆の葉柄にて出来る草履の製法

セメントのベン皿

時局と新竹工教材の研究

文様手工科受験の跡

雑報

人事動靜

新読者紹介

執筆者紹介

編輯寸言

田川 萬之助

中村 忠士

小野 寺喜一

太田 雅衛

上田 駒男

山本 正一

野崎 芳五郎

池本 忠次

第百四十五号

昭和十五年十一月一日

四八ページ

口絵

巻頭言 新教育体制と派閥感情

国民学校と勞作(続)

実業科工業に就いて

手工教育月評

小西 重直

矢島 種夫

第百四十六号

昭和十六年一月一日

四八ページ

巻頭言 年頭の辞

教育に於ける勞作(終)

芸能科図書について

理工教材の理論と實際

手工教育月評

小西 重直

萬 富三

上田 駒男

スキー製作法(三)

折紙の体系と創作的指導(続)

アップリケの壁掛け

牛乳スフの帽子

膝字版印刷理論の物理的研究

独逸NSKK自動車団の発生活革

模型航空機の誌

雑報

人事動靜

新誌者紹介

執筆者紹介

編輯寸言

第二百四十七号

昭和十六年二月一日

四七ページ

口絵

新しい研究体系

時局下勤勞教育の現状を視る

芸術科回廊の反省と其の指導

戦車模型製作参考

スキー製作法(四)

手工教育月評

折紙の体系と創作的指導(三)

大和 喜栄

永福 佳久

杉浦 基史郎

日下 郁真之助

簡易回廊出番の作り方

私の行った尋常六の飛行機製作(木工)

束子 雅熊

第三回東京市学童模型飛行機競技大会

に優勝して

作業科教師の雑務に就ての私見

工作設備について

雑報

人事動靜

執筆者紹介

編輯寸言

第二百四十八号

昭和十六年三月一日

四七ページ

口絵

巻頭言 校役粗野な作法の風習

機械化国防教育改善に関する意見

航空日本の建設に對する航空機体とグラフ

イター

竹筒利用の雛人形

雛人形の考案と作り方絵解

手工教育月評

芸術工作展(建國祭展)を視て

折紙の体系と創作的指導

山下 一

仁木 明

小松沢正 徳

茂木 喜作

決方 静一

山口 喜四郎

清野 謙太郎

宍越 勤一

石崎 浅吉

編輯 部

手塚 又四郎

永福 佳久

手工科學習指導書案
廢物と生かす紙粘土

中學校の研究

全國郷土玩具抄

私の研究

會報

入會者

人事動靜

雜報

編輯寸言

村松 直

木村 正和

重田 尹二

石田 粧秋

高橋 貞一

入會者

會員動靜

編輯後記

工作研究 「手工研究」改題

第二百五十号

阿部先生追悼号

昭和十六年五月一日

四四ページ

第二百四十九号

昭和十六年四月一日

三九ページ

口絵

工作教育の躍進

新体制工作

国民学校其能科工作に於ける教授内容の研究

日本の科学と西洋的科学の問題

飛行機の話

東京高等師範学校に「其能科」設置する

表紙圖案、当選発表

雜報

板倉 賛治

研究部

小山 英夫

古沢 通玄

阿部先生略歴

阿部先生著書

阿部先生の追憶

阿部前会長を追慕して

阿部君を憶ふ

見山先生を懐か

阿部先生の事ども

阿部七五三先生を憶ひて

嗚呼阿部先生

平辞

芥川の辞

口絵

板倉 賛治

荻 溪 会

下川 兵次郎

鈴木 孝英

板倉 賛治 (齊藤金造)

佐藤 平太郎

上田 誠一

三 哲 正 雄

齊藤 金造

下川 与次郎

山 形 寛

山田 義郎

上甲 二郎

阿部先生を憶んで
阿部先生を憶ふ
故阿部先生を憶ふ

阿部先生の像

阿部先生を憶びまつりて

青年時代の神島先生

阿部さんの思い出

阿部先生の追憶

憶阿部先生

先生の思い出

阿部先生を憶ふ

阿部先生

阿部先生

阿部先生

阿部先生

第二百五十一号

昭和十六年六月一日

四〇ページ

口絵

(巻頭言)科学的実践性の陶冶

「工作」教育座談会

石井 正雄
三井 明

田原 輝夫
三輪 隆三郎

山内 作太郎

石井 明

富田 馨吾

手塚 又四郎

土屋 博雄

平田 幸市

石野 隆

清田 義雄

福垣 益夫

与世里 盛衰

田原 輝夫

松原 郁二

第二百五十二号

昭和十六年七月一日

四三ページ

口絵

(巻頭言)工作教育者の独創を望む

自動車の話

自動車教程序

ドイツ模型技術の精神と日本の航空科学技術性

凹面鏡

第三回文部省主催学校教員模型航空教育講習会に於ける国民学校教程試案

本校に於ける実業科工業経営の実際

広島市第二国民学校工業部

新井 喜惣治

松原 郁二

手塚 又四郎

山下 俊三

研究部

大和 義策

一季 員

瀧井 与志司

模型航空機教程

学校滑空訓練に於ける整備に就て

本年の文検用器画について

平工科試験用器画について

雑報

会員動静

入会者

編輯後記

雑報
会員動静
新入会
編輯後記

第百五十三号

昭和十六年八月一日

四八ページ

口絵

巻頭言 戦即建設

角南監修官のお話から

模型航空機教育講座(二)

凹面鏡

第二回文部省主催学校教員模型航空教育

講習会に於ける国民学校教程試案(三)

工業教育の実施状況

雑報

会員動静

入会者

編輯後記

東京高等師範学校工作研究部

京都府師範学校

第百五十四号

昭和十六年九月一日

四六ページ

口絵

巻頭言 技術の性格に希望するもの

技術と精神に就て

凹面鏡

船艦教材系統案

模型航空機教育講座(三)

文検本試験後の感想

雑報

会員動静

入会者

編輯後記

東京高等師範学校工作研究部

一委 員

小松山政英

第百五十五号

昭和十六年十月一日

四六ページ

口絵

巻頭言 知性と感覚と 錬成と技術とを

模型航空機教育講座(三)

東京高等師範学校工作研究部

図学談義

製図方式と教科書

凹面鏡

杉山 甚一
加藤 俊 雄

第二回文部省主催学校教員模型航空教育講習会に於ける国民学校教程草案(三)

口絵

雑報

会員勳静

入会者

編輯後記

第二百五十六号

昭和十六年十一月一日

四八ページ

口絵

巻頭言 児童科学博物館の提唱

(研究座談会)

工作教育に於ける科学と技術に就て

模型航空機教育講座(四) 東京高等師範学校工作研究部

凹面鏡

「航空日本の建設に絶対必要な航空機体とグライダー(続)

其能科工作に關する感想

商工省 国民生活用出展覧会を觀る

雑報

入会者

会員勳静

編輯後記

岩越 勘一

山本 宗吉

編輯部

編輯部

第二百五十七号

昭和十六年十二月一日

四八ページ

口絵

巻頭言 昭和十六年を送る

雑感

模型航空機教育講座(五)

練布中心の女子工作教材の研究

機械構造分解回立

第二回文部省主催学校教員模型航空教育講習会に於ける国民学校教程草案(四)

雑報

会員勳静

入会者

編輯後記

杉山 甚一

研究部

永福 佳久

第二百五十八号

昭和十七年一月十三日

三五ページ

口絵

巻頭言 職域に責任を持つて

工作教育の前途

凹面鏡

模型航空機教育講座(六)

木材を中心とする工作教材の系統的研究

機械教育講座(二)

鈴木 定次

東京高等師範学校工作研究部

研究部

東京高等師範学校工作研究部

簡易風洞製作と其の實驗

雜報

新入会

會員動靜

編輯後記

永福佳久

第二百六十号

昭和十七年三月十三日

四〇ページ

第二百五十九号

口絵

卷頭言「器用」と云ふ文字を捨てよ

工作に於ける訓練の向題

機械教育講座(三)

回字雜録

凹面鏡

去る一月施行されたる東京高等師範学校其能科

昭和十七年度第一学年入学試験問題は次の通りである

雜報

會員動靜

新入会

編輯後記

昭和十七年二月十日

三六ページ

松原郁二

東京高等師範学校工作研究部

杉山甚一

口絵

卷頭言「字年末を迎へて」

ラジオ受信機に就て

製図教育の系統的研究

機械教育講座(三)

模型航空機教育講座(七)

凹面鏡

雜報

會員動靜

新入会

編輯後記

森一雄

研究部

東京高等師範学校工作研究部

東京高等師範学校工作研究部

第二百六十一号

口絵

卷頭言「国防文化」

ラジオ受信機に就て(三)

機械要素の常識(二)

新制師範学校制度工作関係事項分

雜報

昭和十七年四月十三日

三八ページ

森一雄

永福佳久

入会者
編輯急信

第二百六十二号

昭和十七年五月十三日
三二八一ジ

卷頭言 教育推進隊
軍の機械化と国民教育
工学雑談 角錐の切斷、断面実形、展開図
(第二稿)
ラジオ受信機に就て(三)
雑報
会員動靜
編輯後記

村井陸軍中將閣下

杉山 甚一
森 一雄

第二百六十三号

昭和十七年六月十三日
三〇八一ジ

卷頭言 海洋訓練と模型艦船
工作に於ける工芸の重要性
科学則製図論
機械要素の常識(三)
昭和十七年度回画科予備試験用回画問題解大和

石井 明
稲垣 益夫
永福 佳久
喜栄

基礎彫金技法
雑報
会員動靜
入会者
編輯後記

第三十六卷・九月号

昭和十七年九月十日
七二八一ジ

科学技術の教育へ
現代科学と行
工作教育の本質を捉へよ
新制師範学校
芸術科工作教育
技術錬成と彫塑の道
書評 工芸文化
工作教育と工作教科書その一
検定試験と工作教師の修養
機械の分解組立教材の考察
機械製図の取扱
偉大なる素人レオナルド、ダ・ヴィンチ
会報
消息
後記

角南 元一
井上 清 恒
山形 寛
三苔 正 雄
手塚 又四郎
井坂 行男
佐野 幸正
松原 郁一
樋口 澄 雄
稲垣 益夫
稲村 退三

杉浦 基史郎

第三十六卷 十月号
第八号

昭和十七年十月十日
七 四ページ

教育工作ノート
合理創造の精神 座談会

山形 寛
手塚 又四郎
新井 光二
森 一雄
三苫 正雄
山形 寛
井坂 行男
松原 郁二
箱村 退三
岩上 行忠

工具とその取扱法
学童用家具

工作教育と工作教科書―その一―
ブライダー(初三、初四)十月教材)
評造型美論―高村光太郎著―
機械製図の取扱(三)

杉原 政勝
中井 太一郎
佐野 幸正
阿部 廣司
山形 寛
箱村 益夫

後記

第三十六卷 十一月号
第九号

昭和十七年十一月十日
七 ページ

理科と工作との関連に就いて
教育工作ノート(三)
私の工作研究(一)

隈部 一雄
山形 寛
三石 巖

学童用整理棚

工具とその取扱法(三)
技術論入門―相川春喜著―
簡易電動機(初大用)
ガウクノアツカヒ方(初一教材)

工作教育と工作教科書―その三―
機械製図の取扱(三)
展南園(A)

工作と汚点処理法

雑報
後記

剣持 勇
杉原 政勝
松原 郁二
西沢 長吉
阿部 廣司
佐野 幸正
箱村 益夫
杉山 甚一
永福 佳久

第三十六卷 十二月号
第十号

昭和十七年十一月十日
六 四 ページ

芸能科工作に就いて
理科と工作との関連に就いて(続)
工作教育に期待する
工作教育と工作教科書―その四―
自動車―工夫製作の要点―
私の工作研究(二)
自転車
ユニット家具の設計

桑島 棟吉
隈部 一雄
梶井 一衛
佐野 幸正
阿部 廣司
三石 巖
井坂 行男
中井 太一郎

櫛 建築と文化―藤島亥泥郎著―

機械製図の取扱(四)

展南園(目)

我々の少年団航空班

消息

雑報

後記

手塚 又四郎

福垣 益夫

杉山 甚一

高橋 辰一

新南園式牌掛の製作(私家)

消息

後記

片岡 龜之助

第三十七卷 一月号

昭和十八年一月十日

七ニ ページ

つくること知るこゝ

「物」を作る教育

手と道具

私の工作研究(三)

明日の工作教育

決戦体制下の工作教育

教育工作ノート(三)

組立の色々(初三教材)

我々に於ける工作工業教育

接合

工芸の改革

工作教育と工作教科書―その五―

評 最近の科学・技術書の中から

菅井 準一

森 徳治

勝見 勝

三石 巖

松田 義之

斎藤 市四郎

山形 寛

阿部 廣司

今尾 嘉一

淡 徳太郎

国井 義太郎

佐野 幸正

井坂 行男

第三十七卷 第二号

昭和十八年二月十日

六ニ ページ

急務中の急務

工作教育の確立

手工教育思潮の変遷史(一)

「工ノ本」より「初等科工作」へ

教育工作ノート(四)

折置装置の研究

技術修練の基抵に培ふもの

私の工作教育(四)

起重機

工作教育と工作教科書―その六―

周・訪の石・庭

時局下に於ける色盲者の厚生の提唱

後記

山形 寛

井坂 行男

勝見 勝

宮城 延太郎

山形 寛

高橋 良助

手塚 又四郎

三石 巖

永福 佳久

佐野 幸正

下瀬 貞和

鈴木 隆治

第三十七卷 第三号

昭和十八年四月十日

四八ページ

教養としての技術

形体教育への一考察

錬成への芸能科回画

筆に就いて

手工作教育思潮の変遷史(三)

私の工作教育(五)

図的教材の重要性

折置装置の研究

鑑賞掛図考

工作台に就いて

後記

清岡 暎一

山本 隆 亮

平 勇 雄

浅野 晃

勝見 勝

三石 巖

大道 武 男

高橋 良 助

西田 秀 雄

上海 赤城 生

私の工作教育(6)
折置新台

三石 巖
高橋 良助

第三十七卷 第五号

昭和十八年七月十日

三二ページ

知覚と描画

私の工作教育(7)

手工作教育思潮の変遷史(4)

図案と指導線

機甲部隊整備機関の概要・続

造形精神と文化

鈍の指導に就いて

ねぢ(教材研究)

上代 晃

三石 巖

勝見 勝

林山 義 雄

金子 功

山本 隆 亮

永福 佳 久

林 義 信

第三十七卷 第四号

昭和十八年五月十日

三二ページ

水墨画

手工作教育思潮の変遷史(三)

機甲部隊整備機関の概要

回画経営の実陸

ジャガトラ

図案と指導線

目次

第三十七卷 第六号

昭和十八年八月十日

三二ページ

造形精神と文化(2)

私の工作教育(8)

本校に於ける工業科経営

我々の工業教育

手工作教育思潮の変遷史(5)

山本 隆 亮

三石 巖

片岡 亀之助

佐藤 正 夫

勝見 勝

鑑賞及び形体
を感修練を語る
鉦の指導に就いて (承前)

永瀬村山
福村 義
佳 虎
久 維 雄